

2025年12月期
(1月1日~12月31日)

決算説明資料

2026年2月12日

ユニ・チャーム株式会社



2025年12月期（1月1日~12月31日） 決算概要

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により
記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

連結

売上高 9,453億円 (YoY -4.4%)
コア営業利益 1,089億円 (YoY -21.4%)

- 前年の過去最高業績の反動やアジア競争激化に対し2026年度からの第13次中期経営計画を見据えた「攻めの投資」と「構造改革」を加速。持続的成長に向けた強固な基盤構築を着実に推進。

日本

0.8%増収、0.9%減益

- 過去最高の売上高を更新。インフレに伴い生活者の「メリハリのある消費行動」に対し強固なブランド力が支持されシェアは安定的に推移。中長期成長を見据えたDX投資を積極化しつつ継続した価値転嫁の浸透・拡大が奏功し高水準の利益率を維持。

海外

7.1%減収、41.1%減益

- アジア地域 減収減益。市場構造の変化に対し新たな勝ち筋の確立に注力。厳しい競争環境のなか中国はブランド信頼回復に注力、インドネシアではディストリビューター変更に起因する出荷の調整。目先のトップラインよりも、次期中計を見据えた「持続的成長を支える土台作り」を優先。
- その他地域 増収増益。北米ではペットケア事業が関税政策の対応を進めるなか高成長を継続。

株主還元

年間配当18円 24期連続増配

- 減益局面においても計画どおりの1株当たり18円の配当金と自己株式220億円の取得を実施。

次期中計を見据えたアジアEC・二極化対応への重点投資に加え、インドGST改正の一過性費用や減損処理が利益を圧迫、将来リスクを当期で出し切り再成長への基盤構築を着実に推進

● 連結決算ハイライト (1-12月)

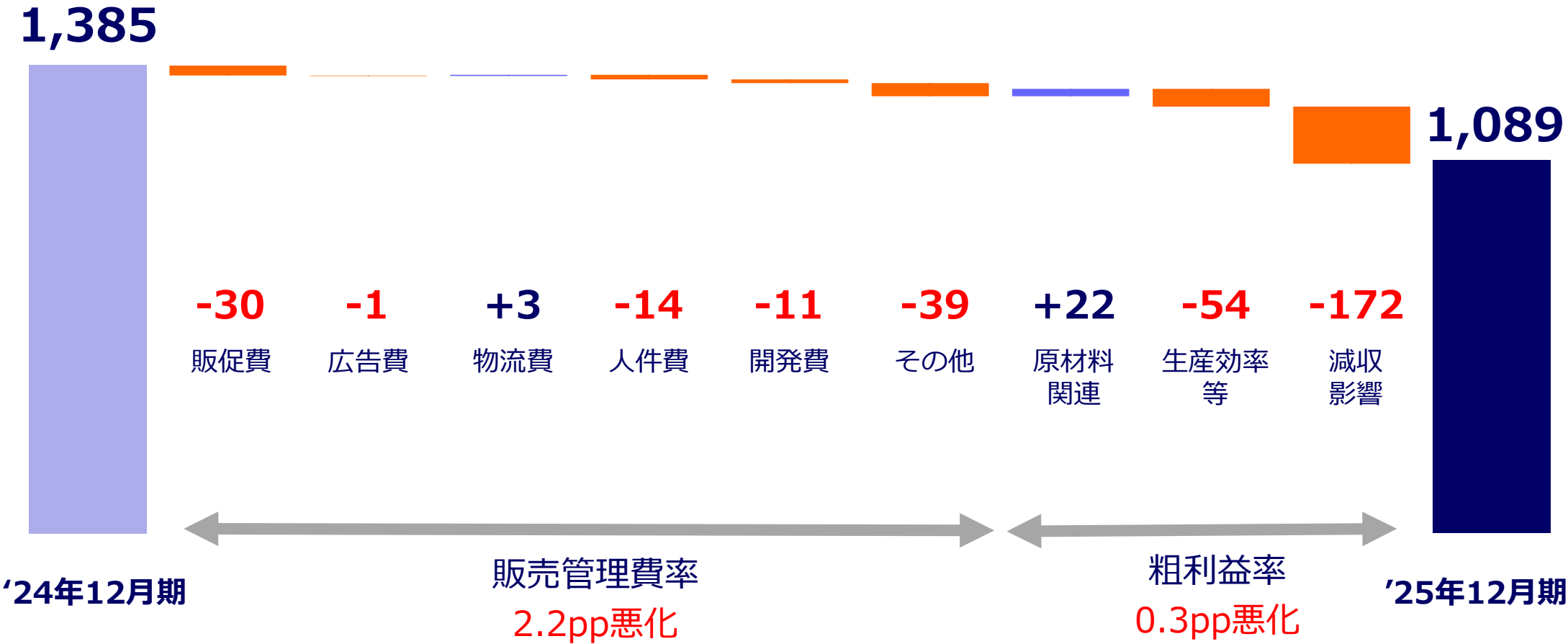
(億円)

	'24/12月期	'25/12月期	増減額	増減率	実質増減率 ^{※1}
売上高	9,890	9,453	-437	-4.4%	-3.5%
コア営業利益 (利益率)	1,385 (14.0%)	1,089 (11.5%)	-296	-21.4% (-2.5pp)	-21.4%
税引前当期利益 (利益率)	1,345 (13.6%)	1,054 (11.1%)	-292	-21.7% (-2.5pp)	
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	818 (8.3%)	652 (6.9%)	-166	-20.3% (-1.4pp)	
EBITDA 税引前期当期利益 +償却費+減損損失+評価損失	1,820	1,661	-159	-8.7%	
基本的1株当たり当期利益(円)	46.41	37.30	-9.11	-19.6%	
USDレート(円)	151.58	149.71	-1.87	-1.2%	
中国元レート(円)	21.02	20.82	-0.20	-1.0%	

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率

(億円)

● コア営業利益増減 (1-12月)



※1 販管費は研究開発体制をより実態に合わせ'24年を遡及修正して比較

日本はインフレ下でもシェアを堅持、北米・中東は好調を持続、アフリカは積極投資を展開
中国・インドネシアは厳しい状況だが、タイ・ベトナムは競争対応策の効果が顕在化し回復傾向



● 所在地別セグメント情報 (1-12月)

(億円)

		'24/12月期	'25/12月期	増減額	増減率	(参考) 実質 ※1 増減率
日本	売上高	3,399	3,425	+26	+0.8%	—
	コア営業利益 (利益率)	680 (20.0%)	674 (19.7%)	-6	-0.9% (-0.3pp)	—
アジア	売上高	4,431	3,893	-538	-12.1%	-10.8%
	コア営業利益 (利益率)	429 (9.7%)	114 (2.9%)	-315	-73.4% (-6.8pp)	-74.4%
その他 ※2	売上高	2,059	2,135	+75	+3.7%	+5.2%
	コア営業利益 (利益率)	274 (13.3%)	300 (14.0%)	+26	+9.6% (+0.7pp)	+11.2%
連結	売上高	9,890	9,453	-437	-4.4%	-3.5%
	コア営業利益 (利益率)	1,385 (14.0%)	1,089 (11.5%)	-296	-21.4% (-2.5pp)	-21.4%

【主要国 売上高 実質増減率】 ※管理会計ベース

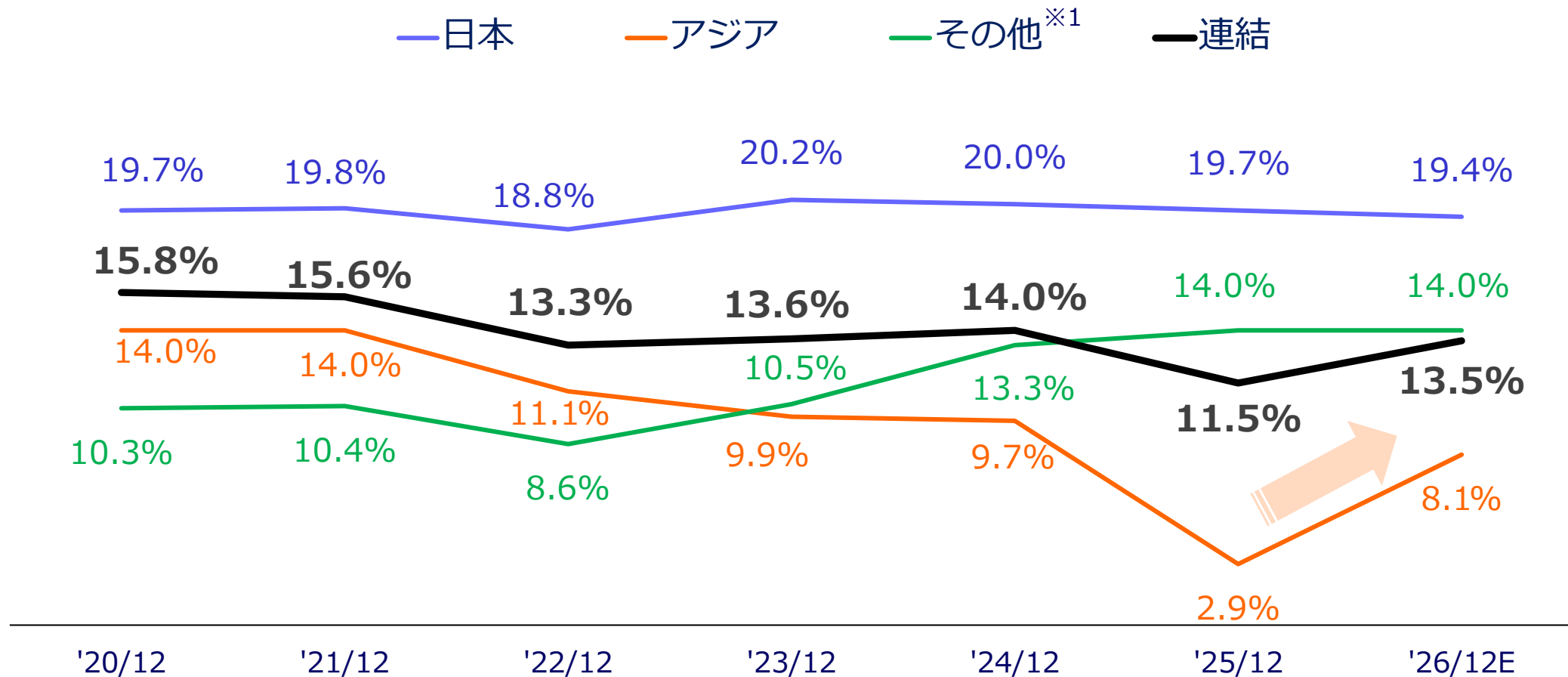
中国 -27% インドネシア -18% タイ -9% インド +1% ベトナム +8% 中東 +5% 北米 +12% ブラジル -2% エジプト +16%

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率

※2 その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

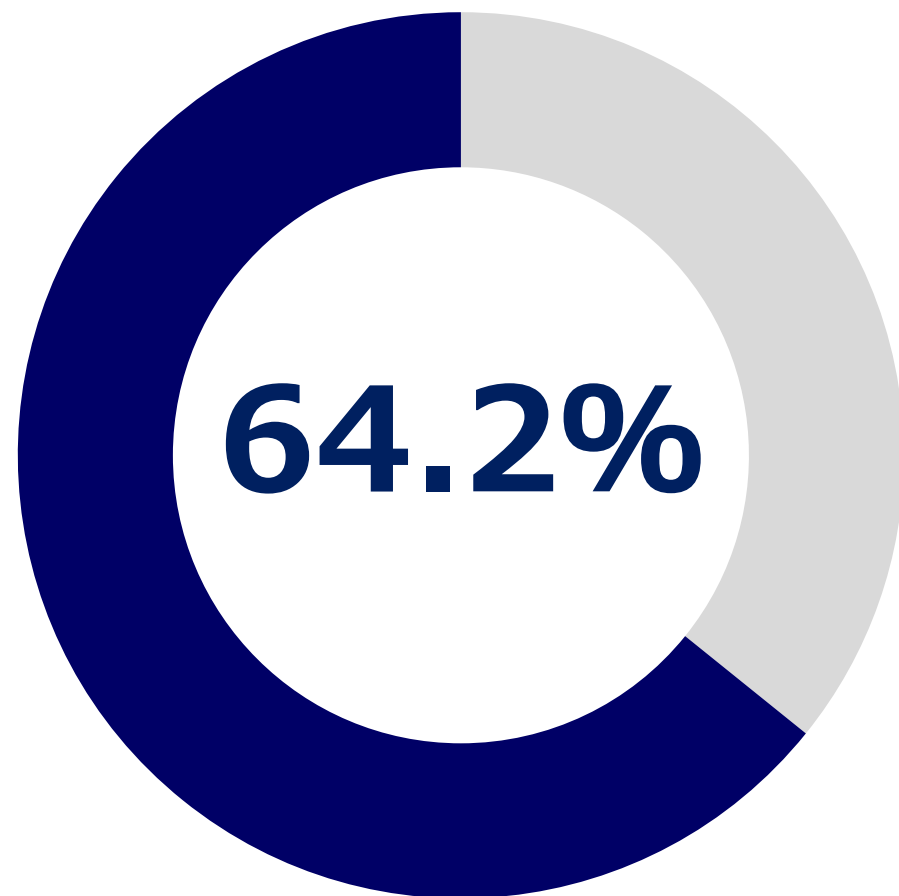
日本は盤石な高収益体質を維持、その他地域は高付加価値化に加えアフリカへの先行投資を加速
アジアは一過性の減益要因の一巡と構造改革の効果顕在化により収益性は回復局面へ

● 所在地別 コア営業利益率（1-12月）

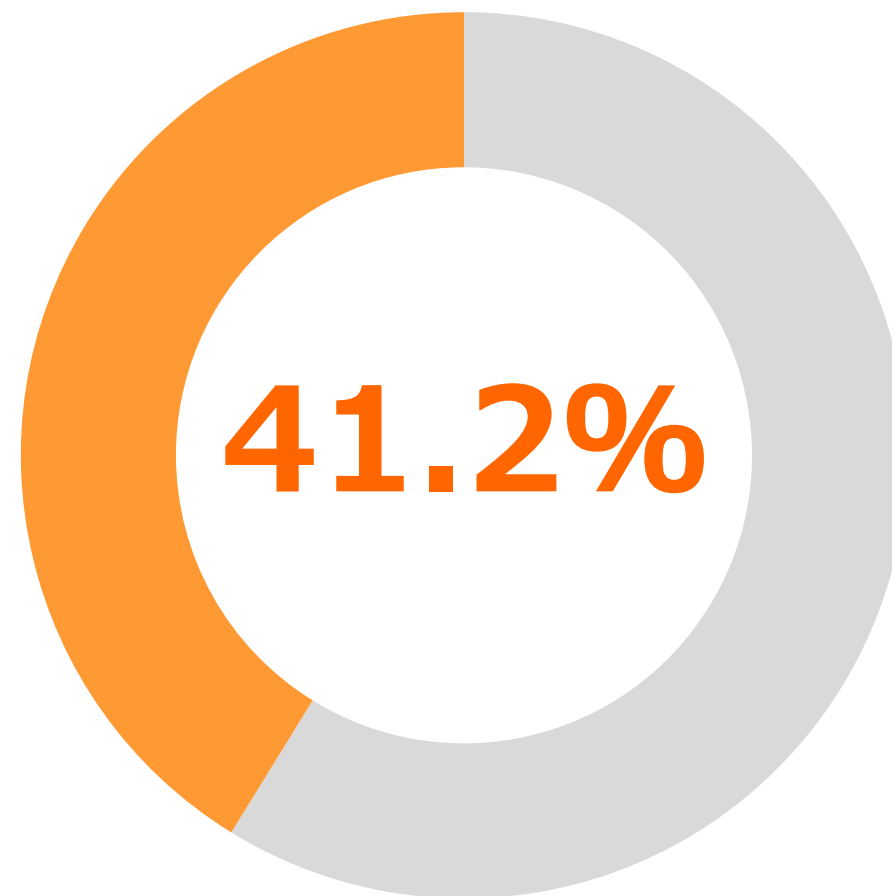


※1 その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

● 海外売上高比率



● アジア売上高比率



パーソナルケアは市場変化（二極化・EC化）に対応した新たな勝ち筋の確立に注力
 中国・インドネシアのリスク対応を進め2026年度の反転攻勢に向け盤石な体制の構築を推進
 ペットケアは北米の好調が収益を牽引、アジアでは将来の柱となる市場への先行投資を優先

● 事業別セグメント情報（1-12月）

（億円）

		'24/12月期	'25/12月期	増減額	増減率
パーソナルケア	売上高	8,261	7,744	-517	-6.3%
	コア営業利益 (利益率)	1,109 (13.4%)	832 (10.7%)	-277	-25.0% (-2.7pp)
ペットケア	売上高	1,487	1,561	+74	+5.0%
	コア営業利益 (利益率)	258 (17.4%)	241 (15.4%)	-18	-6.9% (-2.0pp)
その他 ^{※1}	売上高	142	148	+5	+3.9%
	コア営業利益 (利益率)	17 (12.2%)	16 (11.0%)	-1	-6.9% (-1.2pp)
連結	売上高	9,890	9,453	-437	-4.4%
	コア営業利益 (利益率)	1,385 (14.0%)	1,089 (11.5%)	-296	-21.4% (-2.5pp)

※1 その他は産業用資材関連商品等

為替変動による影響額は
売上高 約94億円減、コア営業利益 約0億円減

● 通貨別変動推移（1-12月平均レート）

通貨	'24/12期レート	'25/12期レート	増減率
米国(USD)	151.58	149.71	-1.2%
サウジアラビア(SAR)	40.46	39.98	-1.2%
ベトナム(VND)	0.0060	0.0058	-3.3%
中国(CNY)	21.02	20.82	-1.0%
タイ(THB)	4.30	4.55	+5.8%
台湾(TWD)	4.73	4.81	+1.7%
インド(INR)	1.82	1.73	-4.9%
インドネシア(IDR)	0.0096	0.0091	-5.2%
ブラジル(BRL)	28.20	26.81	-4.9%
オーストラリア(AUD)	99.97	96.49	-3.5%
マレーシア(MYR)	33.14	34.97	+5.5%
韓国(KRW)	0.1113	0.1054	-5.3%
エジプト(EGP)	3.43	3.04	-11.4%
オランダ(EUR)	163.95	169.00	+3.1%

2026年12月期 業績予想概要

◆資料内の表記

WC : ウェルネスケア関連商品

FC : フェミニンケア関連商品

BC : ベビーケア関連商品

PC : ペットケア関連商品

連結

売上高 **10,100億円** (YoY +6.8%)
コア営業利益 **1,360億円** (YoY +24.9%)

連結

- ① 売上高は初の1兆円超えを計画。
- ② アジアの回復が全社を牽引し確実な増収増益を実現。
- ③ 原材料関連費用は年間約130億円のコストダウンを見込む。設備投資額400億円、減価償却費470億円を計画。

日本

- ① 成長領域であるWCで高付加価値化を加速。軽度失禁ケア市場の拡大と大人用おむつの機能革新を推進。
- ② PCはプレミアム市場の積極的な拡充と新市場創造による収益性の向上。
- ③ 「ソフィBe」活用によるフェムテック市場の開拓。ベビーケアにおける高付加価値提案の深化。

アジア

- ① (中国) 収益構造の抜本改革と再成長。FC差別化商品によるブランド復権。EC収益性改善推進。
- ② (インド) BC、FC、WCの普及拡大・高付加価値化と、PC新規参入による成長加速。
- ③ (東南アジア) 高付加価値化とコスト構造の抜本的見直し。EC強化。WCとPCへ集中投資。

その他

- ① (中東) FCとWCへの重点シフト。周辺国への輸出拡大によるエリアドミナント化。
- ② (北米) 高付加価値商品(おやつ・トイレタリー)の拡充で高収益かつ安定的な成長を継続。
- ③ (ブラジル) FCとPCへ新規参入。アフリカは将来の成長を支える事業基盤の構築を継続。

【主要国 売上高 現地通貨増減率】 ※管理会計ベース

日本+5~7% **アジア+6~8%** (中国+14~16% インドネシア+8~10% タイ+4~6% インド+6~8% ベトナム+4~6%)

その他+2~4% (中東 +1~3% 北米+7~9% ブラジル+18~20%)

連結売上高は初の1兆円超えを計画、親会社の所有者に帰属する当期利益も過去最高を更新
日本・北米等の盤石な収益基盤に加え、構造改革の効果が顕在化するアジアの回復が
全社業績を強力にけん引

● 連結業績予想ハイライト
(1-12月)

(億円)

	'25/12月期	'26/12月期	増減額	増減率	実質増減率 ^{※1}
売上高	9,453	10,100	+647	+6.8%	+6.4%
コア営業利益 (利益率)	1,089 (11.5%)	1,360 (13.5%)	+271	+24.9% (+2.0pp)	+24.5%
税引前当期利益 (利益率)	1,054 (11.1%)	1,358 (13.4%)	+304	+28.9% (+2.3pp)	
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	652 (6.9%)	865 (8.6%)	+213	+32.6% (+1.7pp)	
基本的1株当たり当期利益(円)	37.30	49.71	+12.41	+33.3%	
USDレート(円)	149.71	150.00	+0.29	+0.2%	
中国元レート(円)	20.82	21.50	+0.68	+3.3%	

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率

株主還元政策

PBR最大化への指針：

事業成長に加え、資本政策の再構築（Rebirth）の両輪で企業価値のV字回復を実現する

総還元性向を「50%→65%」へ引き上げ、純資産（分母）を抑制しつつ、
ROEの構造的な向上を図る。

従来の資本政策

総還元性向

50%以上

- ・ PBR2倍で停滞
- ・ ROE10%程度

Rebirth
(抜本的見直し)

第13次中期経営計画 資本政策指針

総還元性向

65%以上

(5年間継続)

DOE

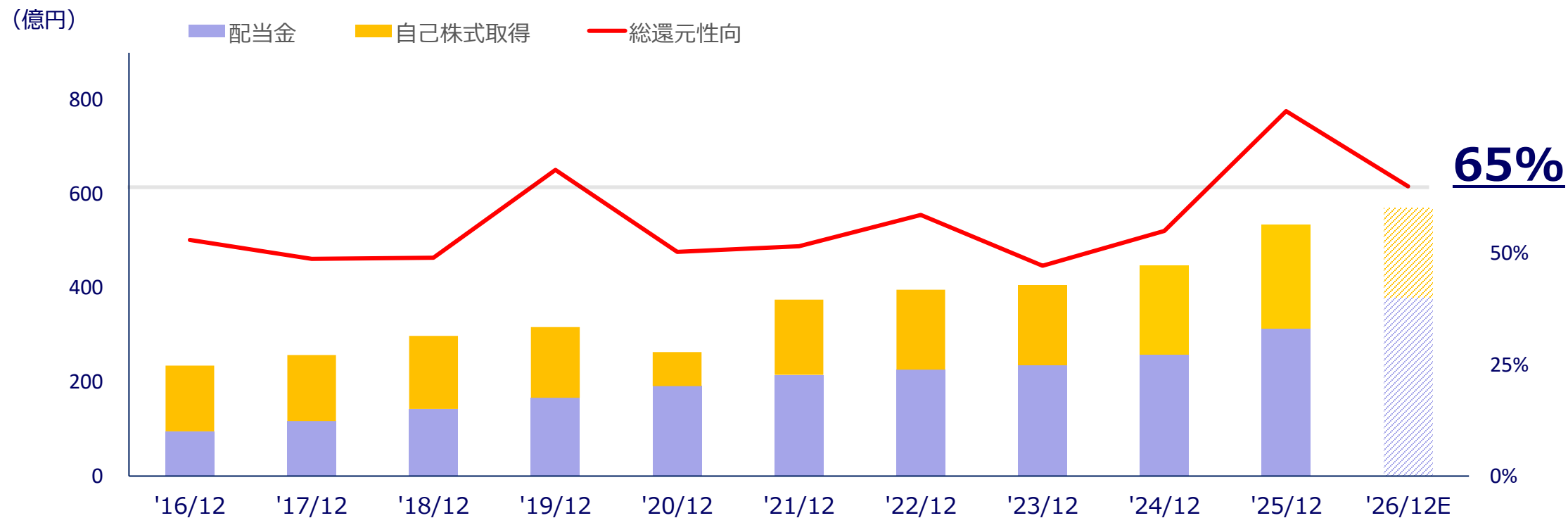
4.5%超

(連続増配継続)

資本効率の最大化／PBR向上

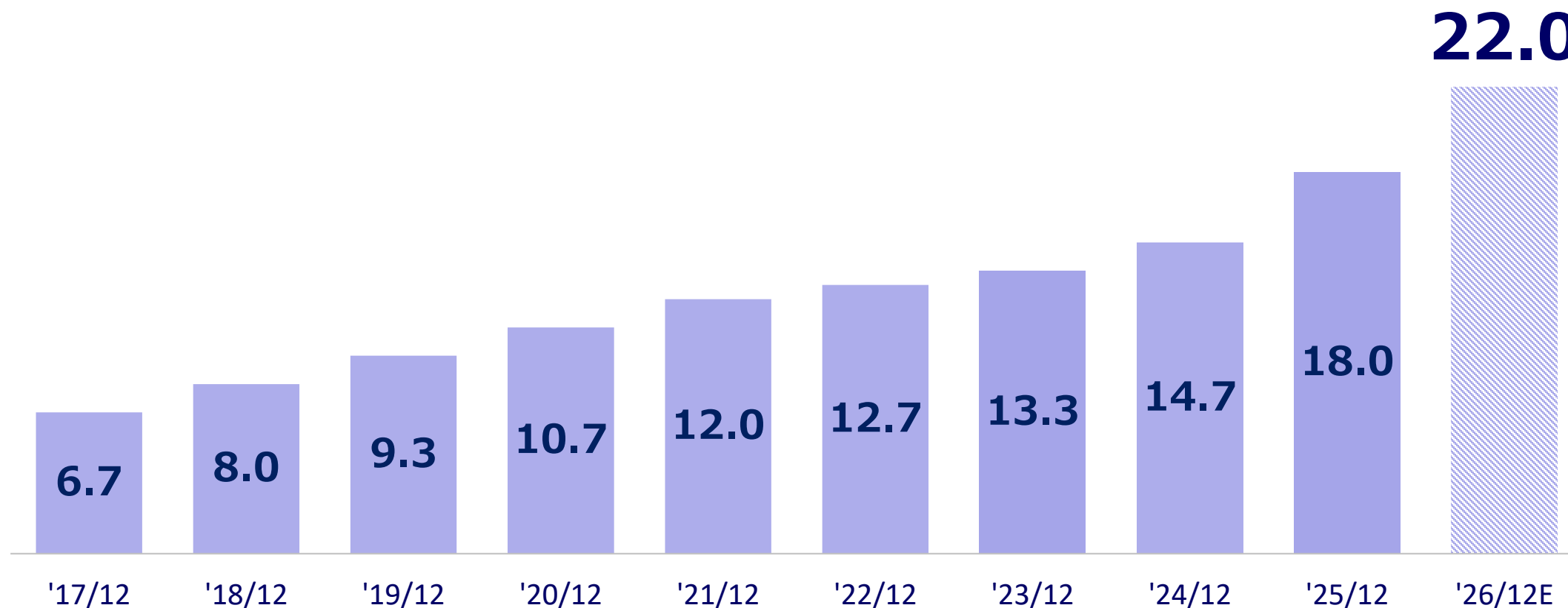
2030年ROE17%目標の達成に向け、
2026年は配当金と自己株式取得を合わせ総還元性向65%以上を計画

● 株主還元政策



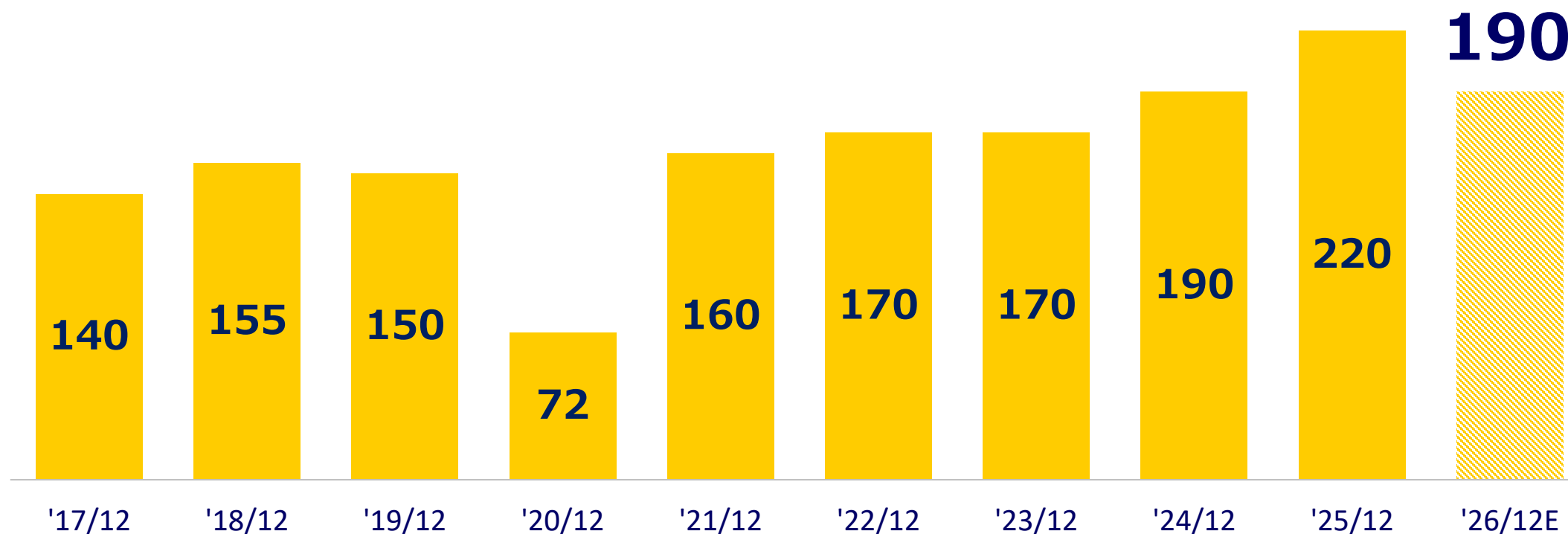
安定的な増配とDOE（株主資本配当率）4.5%以上の目標
2026年の1株当たり配当金は25期連続の増配（年間22円）を計画

● 1株当たり配当金の推移(円)



※1 株式分割（'25年1月実施）後の株数に基づく表示

● 自己株式取得の推移(億円)



「共生社会」の実現に向けた取り組み

◆2030年をゴールとした20の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

目指す方向

全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。

重要取り組みテーマ

- 健康寿命延伸/QOL向上
- 性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献
- パートナー・アニマル（ペット）との共生
- 育児生活の向上
- 衛生環境の向上

社会の健康を守る・支える

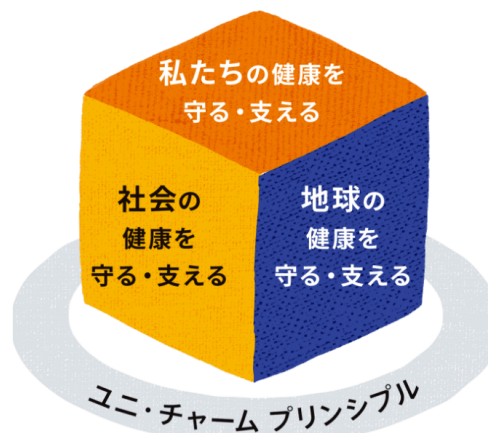
目指す方向

提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- 「NOLA & DOLA」を実現するイノベーション
- 持続可能なライフスタイルの実践
- 持続可能性に考慮したバリューチェーンの構築
- 顧客満足度の向上
- 安心な商品の供給

「共生社会」の実現



目指す方向

衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- 環境配慮型商品の開発
- 気候変動対応
- リサイクルモデルの拡大
- 商品のリサイクル推進
- プラスチック使用量の削減

地球の健康を守る・支える

目指す方向

全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。

重要取り組みテーマ

- 持続可能性を念頭においた経営
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 優れた人材の育成・能力開発
- 職場の健康と労働安全システムの構築

ユニ・チャーム プリンシプル

◆「共生社会」の実現に向けた20の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

- ・ 健康寿命延伸/QOL向上
- ・ 性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献
- ・ ペットとの共生
- ・ 育児生活の向上
- ・ 衛生環境の向上

社会の健康を守る・支える

- ・ 「NOLA&DOLA」を実現するイノベーション
- ・ 持続可能なライフスタイルの実践
- ・ 持続可能性に考慮したバリューチェーンの構築
- ・ 顧客満足度の向上
- ・ 安心な商品の供給

地球の健康を守る・支える

- ・ 環境配慮型商品の開発
- ・ 気候変動対応
- ・ リサイクルモデルの拡大
- ・ 商品のリサイクル推進
- ・ プラスチック使用量の削減

ユニ・チャームプリンシプル

- ・ 持続可能性を念頭においた経営
- ・ 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- ・ ダイバーシティマネジメントの推進
- ・ 優れた人材の育成・能力開発
- ・ 職場の健康と労働安全システムの構築

◆私たちの健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	実績				中長期目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	目標年
全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。							
健康寿命延伸/QOL向上	どのようなときも、誰もが“自分らしさ”を実感して暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年
性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献	世界中全ての人が、性別や性的指向等によって制限を受けることなく活躍できる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。 （一部の国・地域において残る女性への差別解消に貢献する商品・サービスの展開を含む）	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年
ペットとの共生	ペットが、家族はもちろん、地域に暮らす人々から歓迎される社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年
育児生活の向上	赤ちゃん和家人が、すこやかに、かつ、ほがらかに暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年
衛生環境の向上	一人ひとりの努力で、予防可能な感染症（接触感染、飛沫感染）を抑制する活動に貢献する商品・サービスの展開比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年

(私たちの健康を守る・支える)
商品やサービスを通じて高齢者に寄り添い「健康寿命延伸」をサポート

◆健康寿命延伸/QOL向上



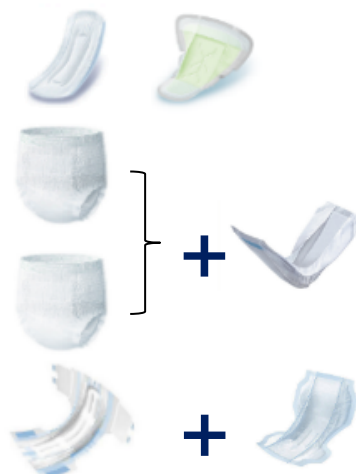
2030年目標
100%継続



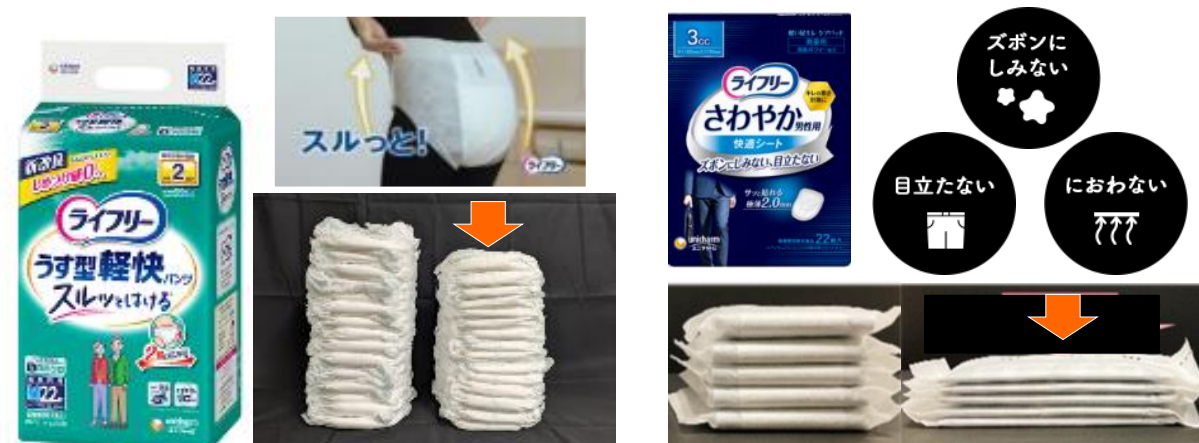
“自分らしさ”を実感して暮らせる
商品・サービスの展開

➤ ご使用される方のADL（日常生活動作）に合わせた
排泄ケアパターンから最適なケアをご提案

軽い尿もれが気になる方	
	一人で外出できる方/一人で歩ける方/ 介助があれば歩ける方
	立てる方・座れる方
	寝て過ごすことが多い方



➤ 不織布・吸収体の加工・成形技術で商品機能を
維持・向上しつつ、原材料の使用量を削減



(私たちの健康を守る・支える)
国や地域の特性に合わせた女性が輝く社会づくりのための活動を展開

◆性別や性的指向等により活躍が制限されない社会への貢献



2030年目標
100%継続



性別や性的指向等によって制限を受ける
ことなく活躍できる商品・サービスの展開

➤ 生理や妊活について
気兼ねなく話せる世の中を目指す取り組み



#NoBagForMe
話そう、知ろう、生理のこと。



研修申し込み件数：
約650の企業・団体
(2025年12月末時点)



TikTok再生回数：
約7,700万回
(2025年12月末時点)



➤ 女性活躍支援をグローバルで推進



初潮教育・月経教育

オンライン含む参加数：
インド約78万名
(2025年12月末時点)



ピンクリボン活動：
日本2025年で18年目



インド女性起業家
創出プロジェクト



文化を考慮した
サウジアラビアの
女性専用工場

➤ **モレ不安を軽減するショーツ型ナプキン
 (中国現法考案)**



© 2025 SANRIO CO., LTD.

➤ **抗菌シートや、ごみを減らして長く使えるタイプの
 ナプキン (インド現法考案)、オリーブオイル
 を配合したナプキン (サウジアラビア現法考案)**

三つ折りタイプ
 個包装あり

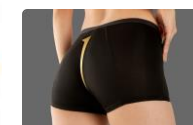
フラットタイプ
 個包装なし



➤ **ムレを感じにくく、ひんやりとした清涼感の
 クールタイプや、活性炭配合タイプのナプキン
 (タイ現法考案)**



➤ **妊活タイミングをチェックできるおりもののシートや、
 女性のライフスタイルに応じたさまざまなタイプの
 ケア用品 (日本考案)**



◆ペットとの共生



2030年目標
100%継続



ペットが人々から歓迎される
商品・サービスの展開

➤ 品質、美味しさ、健康に拘った
多様なニーズに応じたフードとおやつ

➤ 不織布・吸収体の加工・成形技術を活かし、
快適性、利便性に拘ったトイレタリー商品

デオトイレ 脱臭ファン+
デオトイレ



(私たちの健康を守る・支える)

赤ちゃんと保護者の不快を解消し、心地よさを生み出す商品やサービスを通じて
育児環境の向上をサポート



◆育児生活の向上



2030年目標
100%継続



赤ちゃんが、すこやかに、かつ、
ほがらかに暮らせる商品・サービスの展開

- 保護者と保育士の負担や、感染リスク軽減にも
つながる保育園向けサブスクリプション
(定額課金) サービス「手ぶら登園®」



導入施設：約8,000以上
(2025年12月末時点)

- 国や地域のニーズに合わせた独自性のある商品



◆衛生環境の向上



2030年目標
100%継続



一人ひとりの努力で、感染対策をするための
商品・サービスの展開

- つけ心地、機能性、デザインを追求し、
生活者の利用実態やニーズに合わせた商品



- 海外においても、高付加価値マスクの展開を強化



◆社会の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	実績				中長期目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	目標年
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。							
「NOLA & DOLA」を実現するイノベーション	さまざまな負担からの解放を促し、生きる楽しさに満足することに貢献する商品・サービスの展開比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年
持続可能なライフスタイルの実践	持続可能性に貢献する社内基準「SDGs Theme Guideline」に適合した商品・サービスの展開比率。	100%※	10.5%	5.9%	15.4%	50%	2030年
持続可能性に考慮したバリューチェーンの構築	環境・社会・人権の観点を踏まえ、地域経済に貢献する『地産地消』で調達した原材料を用いた商品・サービスの展開比率。	開発継続中	開発継続中	開発継続中	開発継続中	倍増 (2020年度比)	2030年
顧客満足度の向上	消費者から支持を獲得している（＝No.1シェア）商品・サービスの比率。	23.5%	24.0%	23.6%	23.1%	50%	2030年
安心な商品の供給	品質に関する新たな安全性の社内基準を設定し、認証を付与した商品の比率。	100%継続	100%継続	100%継続	100%継続	100%	2030年

※ 「持続可能なライフスタイルの実践」の2021年実績については、運用件数から比率に改めました。

(社会の健康を守る・支える)

全ての人が不自由なく健康的で衛生的に過ごせる ソーシャルインクルージョンの実現に向けた商品とサービスを展開

◆「NOLA & DOLA」を実現するイノベーション



2030年目標
100%継続

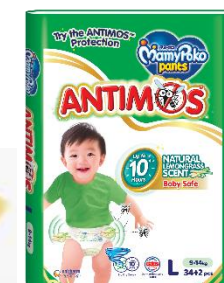


さまざまな負担からの解放を促し、生きる
楽しさが実感できる商品・サービスの展開

➤ 聴覚障がいや、言語障がいのある消費者の声に 耳を傾け、迅速に自社技術を活用したマスク



➤ おむつに蚊を寄せ付けず、デング熱の脅威から 赤ちゃんを守る世界初※の紙おむつに、お手頃価格の パンツタイプ追加で、感染リスクの高い地域を支援



※ テープ部に香料含有のマイクロカプセルが塗工されている構造。
主要グローバルブランドにおける幼児用使い捨ておむつ対象。
(2020年2月ユニ・チャーム調べ)

◆地球の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	実績				中長期目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	目標年
衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。							
環境配慮型商品の開発	今までにないユニ・チャームらしい考え方で「3R+2R」を実践する商品・サービスの展開件数。	開発継続中	2件	2件	5件	10件以上	2030年
リサイクルモデルの拡大	紙パンツ（紙おむつ）リサイクル設備の導入件数。	開発継続中	1件	1件	1件	10件以上	2030年
気候変動対応	事業展開に用いる全ての電力に占める再生可能電力の比率。	7.3%	11.0%	22.8%	25.8%	100%	2030年
商品のリサイクル推進	資源を循環利用した不織布素材商品のマテリアル・リサイクルの実施。	開発継続中	開発継続中	開発継続中	開発継続中	商業利用開始	2030年
プラスチック使用量の削減	プラスチックに占めるバージン石化由来プラスチックの比率。	開発継続中	開発継続中	開発継続中	開発継続中	半減 （2020年度比）	2030年

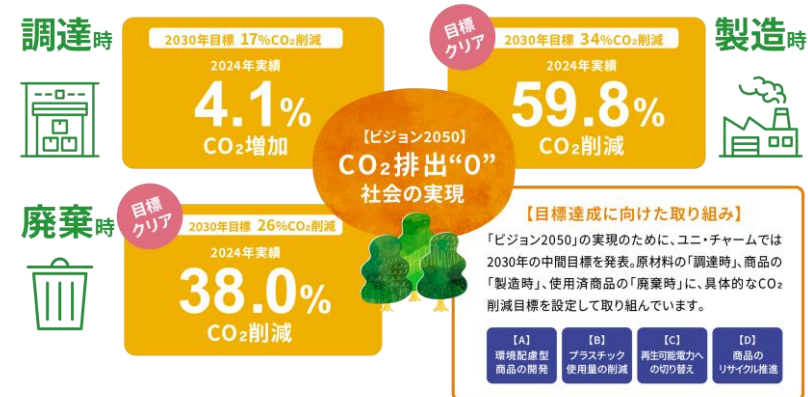
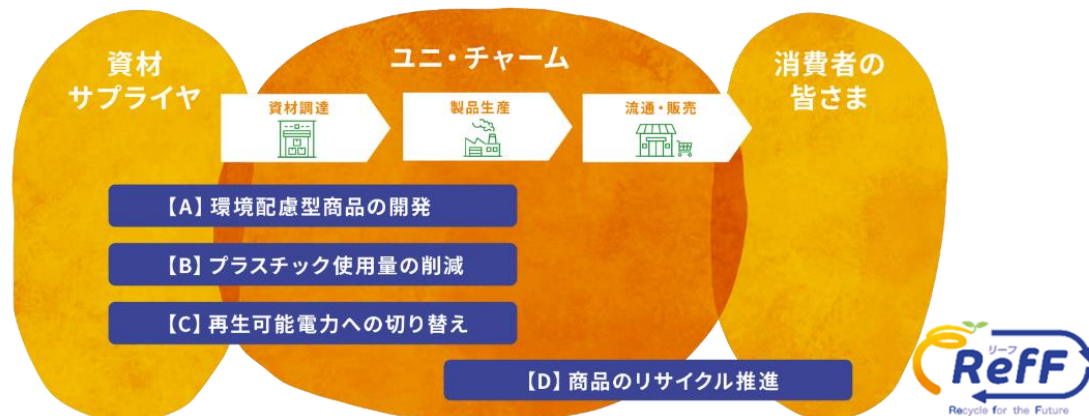
- 「えらぶ つかう めぐらせる」 Webサイトを公開し、
グローバルな取り組みを発信

- 2050年CO₂排出“0”を目指す「ビジョン2050」
実現に向け、中間目標「環境目標2030」を推進



<https://www.unicharm.co.jp/ja/csr-eco/ghg.html>

- 資材調達、製品生産、流通・販売すべての工程で
CO₂削減活動を推進



- 各国・地域における環境負荷軽減への取り組み



(地球の健康を守る・支える)
2050年3つの“ゼロ”を推進
「廃プラスチック“0”、CO₂排出“0”、自然森林破壊“0”」



➤ 「環境目標2030」

環境目標 2030	実施項目		基準年度	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 目標	2030年 目標	2050 ビジョン
プラスチック 問題対応	包装材における使用量削減	原単位	2019*1	▲0.2%	▲12.3%	▲18.4%	▲26.5%	▲27.0%	▲30%	新たな廃プラス チック“0”社会の 実現
	石化由来プラスチックフリー 商品の発売	－	－	開発継続	開発継続	開発継続	開発継続	開発継続	10SKU以上 発売	
	使用済み商品廃棄方法啓発	－	－	38% (6カ国・地域)	50% (8カ国・地域)	56% (9カ国・地域)	63% (10カ国・地域)	69% (11カ国・地域)	グループ 全社で展開	
	販促物でのプラスチック 使用ゼロ	－	2019:日本・中国 2022:ベトナム 2023:インド	▲8.9% (日本)	▲81.8% (日本)	▲86.9% (日本) ▲76.5% (中国)	▲94.7% (日本) ▲93.7% (中国) ▲37.4% (ベトナム) ▲21.7% (インド)	▲95.6% (日本) ▲94.8% (中国) ▲47.8% (ベトナム) ▲34.8% (インド)	グループ全社 で原則ゼロ	
気候変動対応	原材料調達時CO2排出量削減	原単位	2016	9.7% (日本)	▲12.6% (日本)	+5.9%*2	+4.1%	+0.6%	▲17%	CO2排出“0” 社会の実現
	製造時CO2排出量削減	原単位	2016	▲26.9%	▲35.2%	▲55.4%	▲59.8%	▲62.2%	▲34%	
	使用済み商品廃棄処理時CO2 排出量削減	原単位	2016	23.7% (日本)	▲11.6% (日本)	▲35.8%*2	▲38.0%	▲39.9%	▲26%	
森林破壊に加担 しない (調達対応)	パルプ、パーム油の原産地（国・地域） トレーサビリティ確認	森林由来原材料*3	－	97.0%	97.1%	99.2%	99.1%	100%	完了	購入する 木材について 自然森林破壊“0” 社会の実現
		パーム油（日本）	－	77.2%	62.8%	58.5%	99.4%	100%		
	認証パルプ（PEFC・CoC認証）の拡大	認証工場数比率*4	－	52.0%	48.4%	58.6%	58.1%	75.0%	100%	
		認証材調達比率*5	－	76.0%	72.3%	65.3%	70.3%	75.0%		
	認証パーム油（RSPO）の拡大*6（日本）	－	－	77.2%	62.8%	58.5%	99.4%	100%	100%	
	紙パンツ（紙おむつ）リサイクル推進	－	－	開発継続	2*7	2	2	2	10以上の 自治体で展開	

*1 設定当初、基準年を2016年度としていましたが、2020年度に再検討し、2019年度に改めました。ベトナムは2022年度、インドは2023年度を基準年としています。 *2 LCIデータベース AIST-IDEA Ver.3.4 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門IDEAラボ、IPCC2021 with LULUCF AR6に基づく算定を行うと共に、活動量の算定方法の見直しも行いました。 *3 第三者認証材に加え、原産地（国・地域）トレーサビリティ確認ができた森林由来原材料（パルプ）の比率。
*4 当社工場におけるPEFC・CoC認証取得工場数の比率。 *5 対象となる工場数および海外の集計範囲を見直したため、2023年度の数値を遡及して再計算しました。 *6 認証パーム油は、マスバランス方式によるRSPO認証油。集計の対象資材を追加したため、2023年度以前の数値を再計算しました。 *7 2022年度より鹿児島県志布志市と大崎町の2つの自治体でリサイクル設備を運用（使用済み紙パンツの回収に関する実証実験については、2020年度に東大和市、2021年度に町田市で実施）。

(地球の健康を守る・支える)
SBTi※から新たに「1.5℃目標」としての認定取得

➤ 2050年CO₂排出“0”（ゼロ）社会に向けた取り組み

年度	取り組み状況
2018年	✓ 日本で17番目の「2.0℃目標」設定企業として認定取得
2020年	✓ 「環境目標2030」設定
2022年	✓ 「1.5℃目標」修正に向け検討開始 ✓ スコープ3を含む包括的なGHG排出量可視化プロジェクト開始
2023年	✓ RE100加盟
2024年	✓ GHG排出量可視化プロジェクトの海外展開を開始（ASEAN） ✓ 製品別カーボンフットプリント算定ルールの第三者承認を取得 （パーソナル製品算定ルールはSuMPOの『Internal-PCR』制度に準拠） ✓ SBT「1.5℃目標」認定取得

※ SBTi（The Science Based Targets initiative）：企業に対し、気候変動による世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べ1.5℃に抑えるという目標に向けて、科学的知見と整合した削減目標を設定することを推進しています。

(地球の健康を守る・支える)
“ごみゼロ”の世界を目指す
「紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル」へ挑戦

◆環境配慮型商品の開発



2030年目標
10件以上



今までにない考え方で「3R+2R」を
実践する商品・サービスの展開件数

- 吸収体の一部に、世界初※¹のオゾン技術で処理した
再生パルプや、再生高分子吸収材を使用した
商品を発売

九州地区で販売



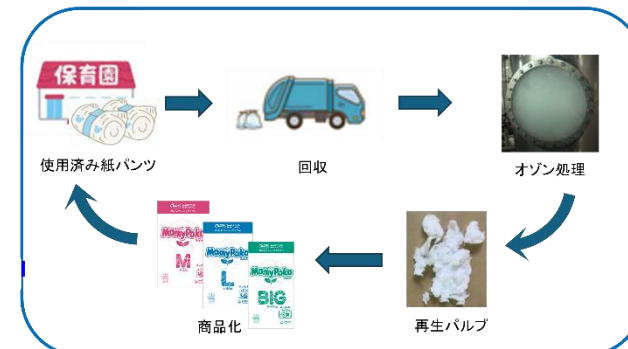
全国で販売



- 「手ぶら登園®」導入園※²でも施設専用
『マミーポコパンツRefF（リーフ）』を導入

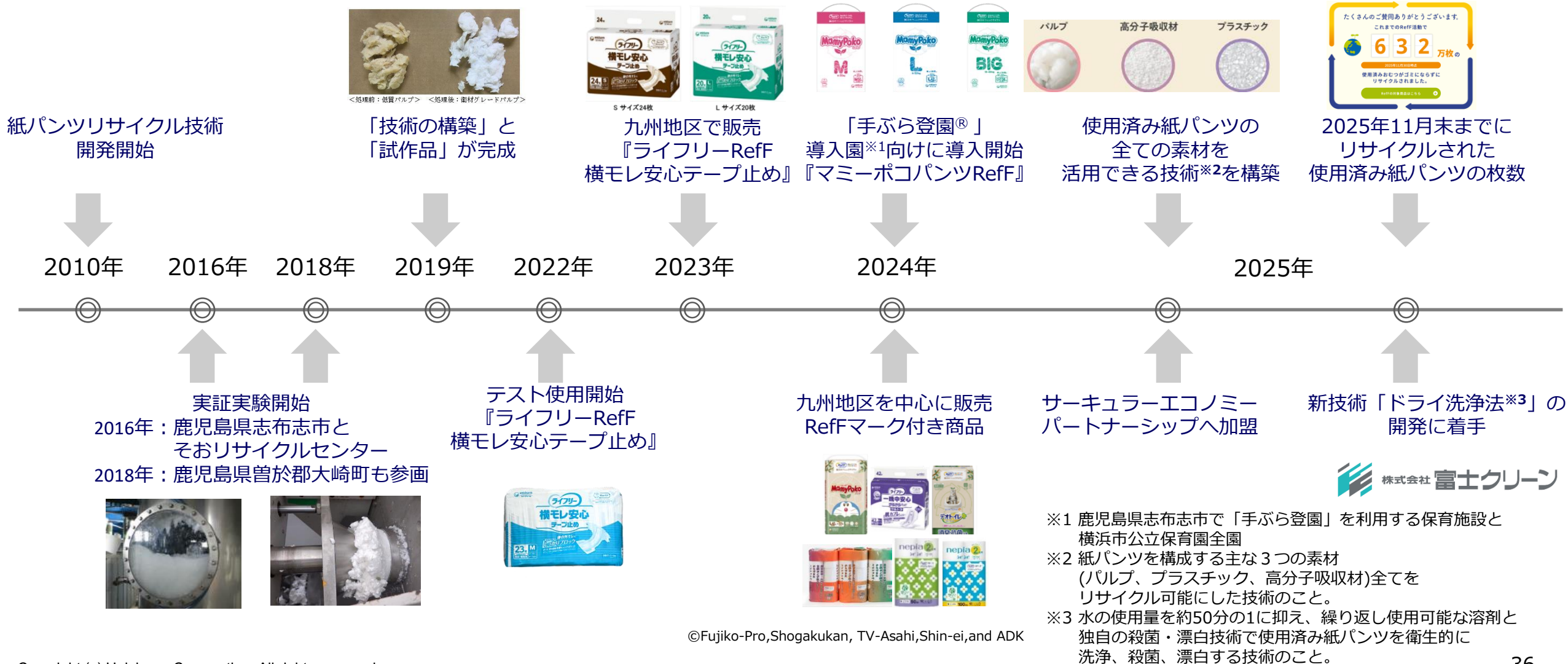
鹿児島県志布志市・大崎町
使用済み紙パンツの回収と専用品導入

神奈川県横浜市の
全公立保育園に専用品導入

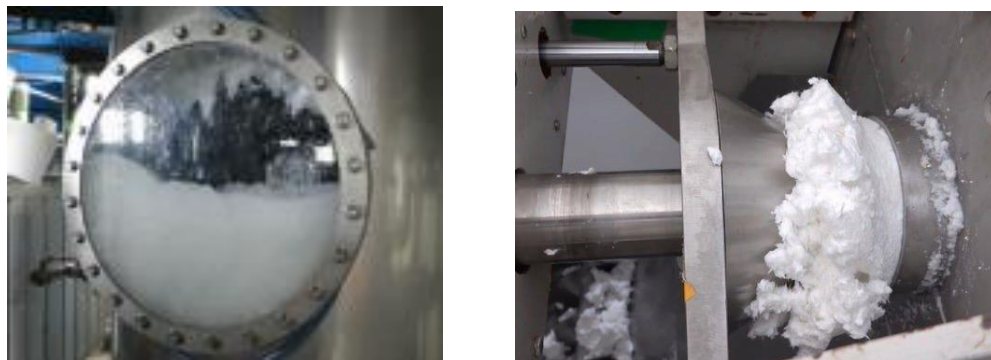


※² 鹿児島県志布志市で「手ぶら登園」を利用する保育施設と横浜市公立保育園全園

プロジェクト発足からこれまでの軌跡



◆リサイクルモデルの拡大



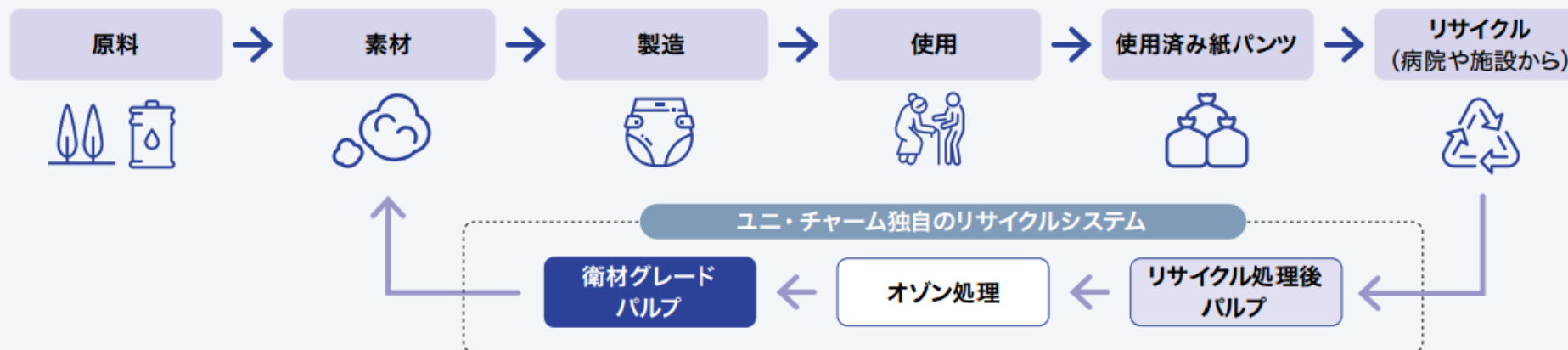
2030年目標
10件以上



紙パンツ（紙おむつ）リサイクル設備の
導入件数

➤ 安心と便利さはそのままに、リサイクルがあたり前の未来へ

紙パンツの循環型モデル



(地球の健康を守る・支える)
使用済み紙パンツの全ての素材を活用できる技術※1を構築

➤ 再生パルプを使用した商品



©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

➤ 再生高分子吸収材を使用した商品



『デオサンド 香りで消臭する紙砂RefF』

➤ 再生プラスチックを使用した商品



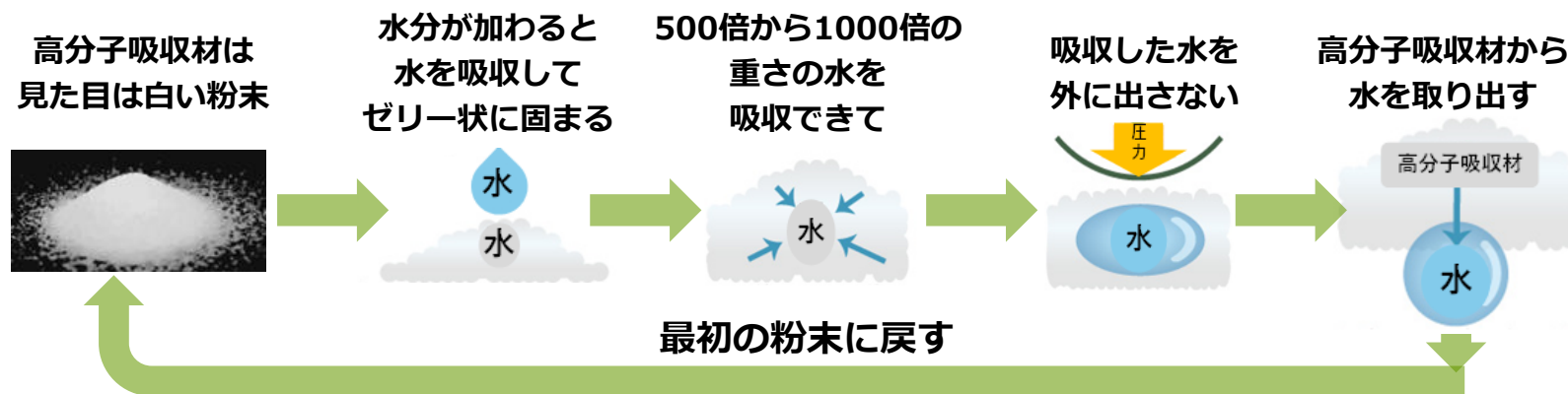
紙パンツ専用
回収BOX

紙パンツ専用
回収袋

トイレットロール
固形燃料の一部として
王子ネピア(株)が生産

輸送用
再生パレット

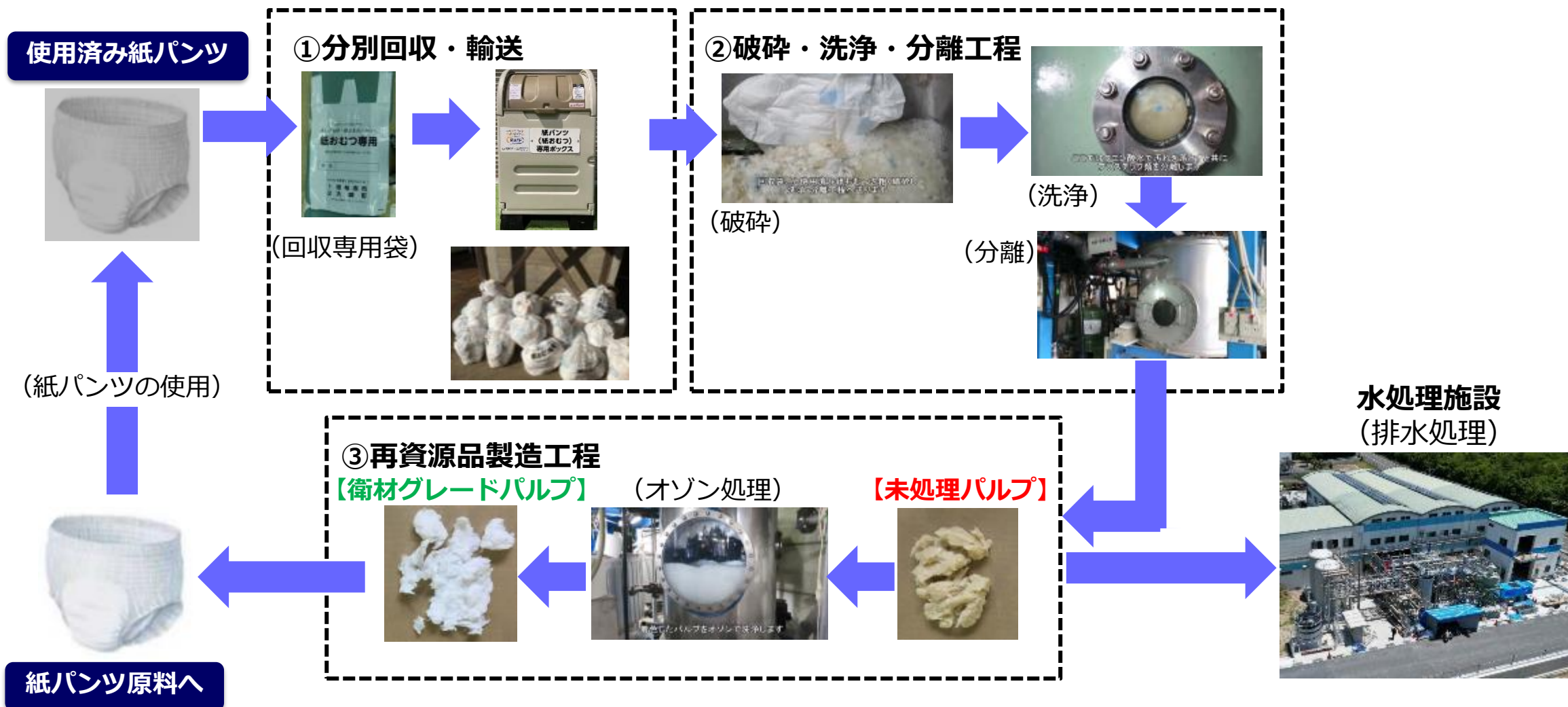
高分子吸収材の機能と再生する仕組み



※1 紙パンツを構成する主な3つの素材(パルプ、プラスチック、高分子吸収材)全てをリサイクル可能にした技術のこと。

(地球の健康を守る・支える)
使用済み紙パンツリサイクル処理の流れ

➤ 水平リサイクル (紙パンツから紙パンツへ)



➤ SNSを活用した「紙パンツから紙パンツへの
水平リサイクル」の理解浸透に向けた発信



紙おむつの未来を考えるnote
https://note.com/unicharm_reff



『RefF』ブランドサイト
みんなで作る、みらいサイクル
<https://www.unicharm.co.jp/ja/csr-eco/reff.html>

➤ 再生パルプを活用したトイレットペーパー※1を、
住友不動産が運営するオフィスビル※2に導入



【住友不動産東京三田ガーデンタワー】

➤ 再生パルプの品質や安全性、環境への配慮などを体験する機会の創出

環境講座の実施

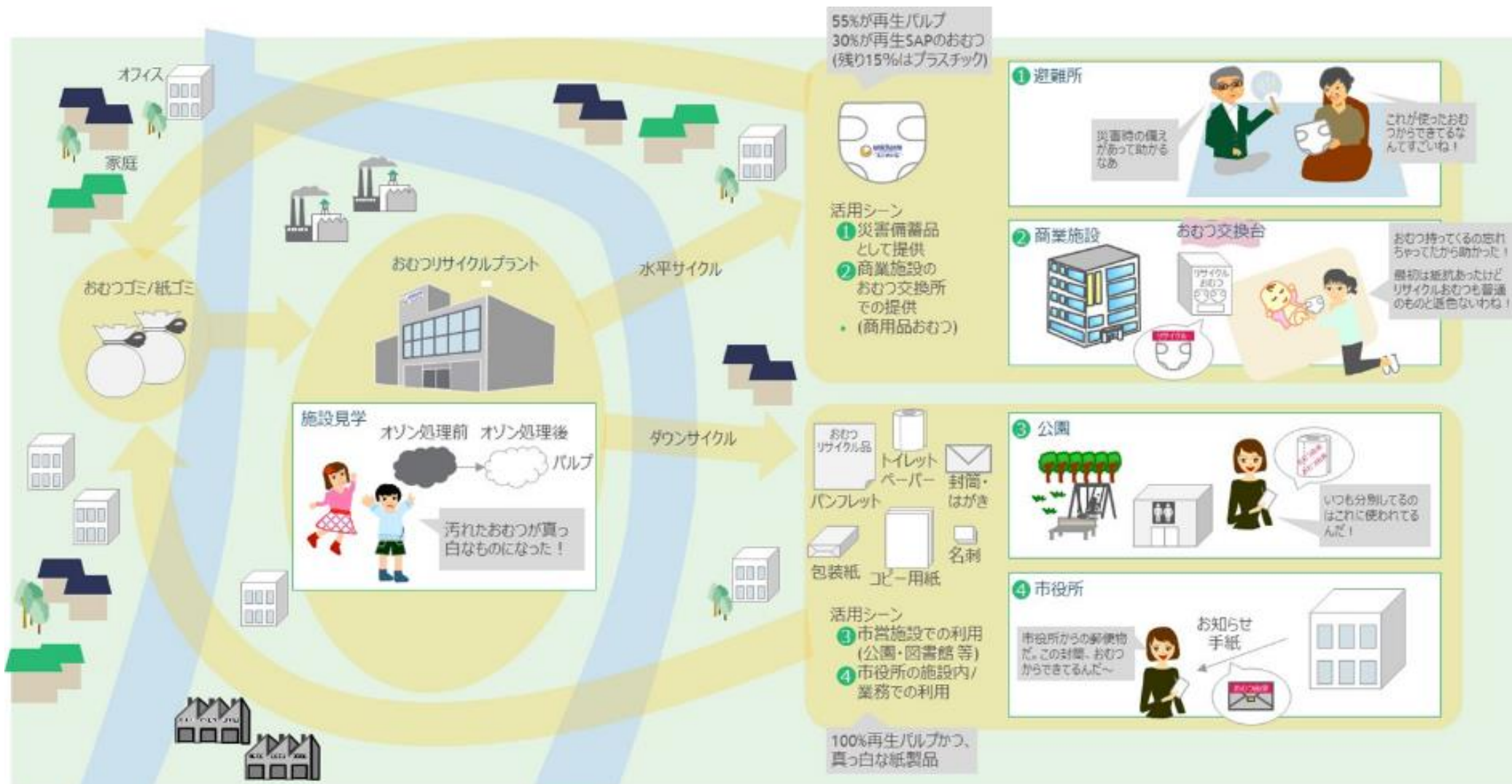


リサイクル素材を活用したアイテムに触れる機会の創出



(地球の健康を守る・支える)
「紙パンツのリサイクルは当たり前」の社会を形成

➤ リサイクル資材を活用した将来像（イメージ図）



◆気候変動対応



事業展開に用いる
全ての電力に占める再生可能電力の比率

➤ 再生可能電力比率 25.8%（2024年12月末時点）

上位5カ国	再生可能電力比率
ブラジル	100%
アメリカ	100%
中国	約55%
日本	約35%
マレーシア	約23%

➤ 再生可能電力比率100%の事業所



ブラジル
(ジャグアリウーナ工場)



アメリカ
(Hartzプレザントプレーン工場)



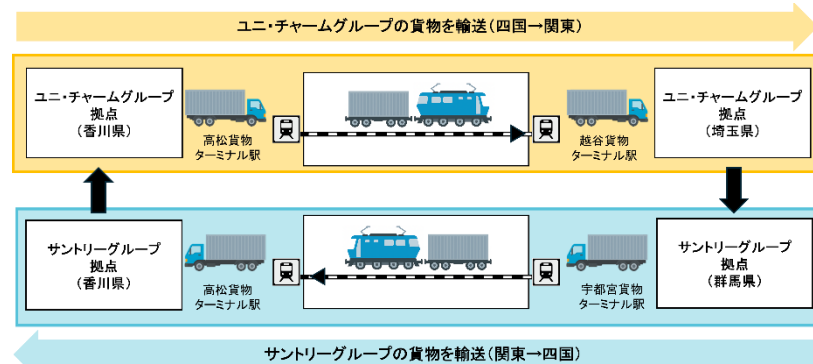
日本（UCP三重・伊丹・埼玉・九州・豊浜、UC国光ノンウーヴン川之江・豊浜・国光、コスモテック、ペパーレット島田、金生プロダクツ）

(地球の健康を守る・支える)
環境配慮と持続可能な物流体制構築の取り組み

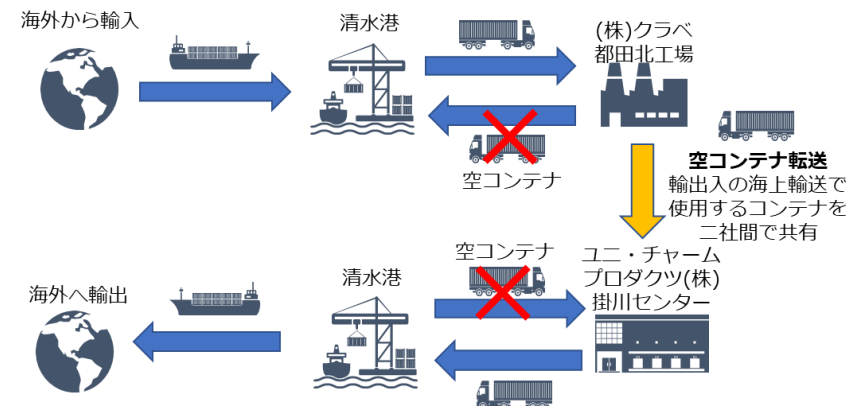
- 異業種とのスワップボディコンテナ活用による荷役作業の分離、混載輸送と、鉄道・船舶を活用したモーダルシフトの拡大



- サントリーグループと共同で鉄道コンテナを利用し、関東と四国間での共同輸送を実施することで、CO₂排出量を年間約180トン削減



- お取引先各社とのラウンド輸送※による共同物流



※ 品物を降ろしたトラックが空荷で走らず、別の品物を積み込んで出発地まで戻ることによって積載率を高める輸送形態

- 超音波接合特許技術で快適性、圧縮率が改善した商品や、食品ロス削減、長期保存に貢献する商品で物流配送の効率化と温室効果ガス排出量を削減



(地球の健康を守る・支える)
生産拠点におけるリサイクルの取り組み

◆商品のリサイクル推進

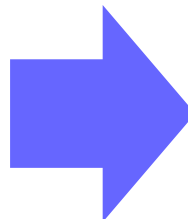


資源を循環利用した不織布素材商品の
マテリアル・リサイクルの実施

- 紙おむつの製品ロスなどを、猫の排泄ケア用品（紙砂®）の原料として二次利用することで
廃棄物削減を推進



ユニ・チャーム生産子会社



ペットケア用品の生産子会社 ペパーレット(株)新工場

◆プラスチック使用量の削減



2030年目標
半減
(2020年比)



プラスチックに占めるバージン石化由来
プラスチックの比率

➤ 販促物を紙素材へ切り替え、 プラスチック使用量削減を推進



販促物でのプラスチック使用量 削減率※ (2024年度実績)

日本※1	▲94.7%
中国※1	▲93.7%
ベトナム※2	▲37.4%

※1 基準年：2019年度

※2 基準年：2022年度

➤ 製造過程で排出するプラスチック「トリムロス」 再原料化を開始



工場で排出したトリムロス



循環型システム

◆ユニ・チャームグループ 生物多様性対応宣言 2025年2月10日開示

私たちは、企業活動のあらゆる段階において、以下の原則に基づき、生物多様性や自然環境の保全に努めます。

生物多様性への依存と影響の把握:

企業活動と生物多様性との関係性を深く理解し、原材料調達から製造、使用、廃棄にいたるバリューチェーン全体の生物多様性への依存や影響について継続的に把握・評価します。

企業活動における影響の最小化:

商品のライフサイクル全体を通じて、森林伐採、水資源の使用、気候変動への影響など、生物多様性への影響を最小限に抑えるよう努めます。

持続可能な資源の利用:

サプライチェーン全体で、持続可能な方法で調達された原材料を使用します。特に、紙パルプ、パーム油、木材由来繊維など、生物多様性への影響が大きいとされる原材料については、認証制度の活用やトレーサビリティの向上などに取り組みます。

生物多様性の保全活動の推進:

企業活動を行う地域社会と連携し、森林保全、水資源保護、生態系回復などの活動に積極的に取り組みます。

地域生態系への共存:

企業活動を行う地域の生態系に配慮し、生物多様性の損失を招くことなく、地域社会と自然環境との共存を目指します。

共に働く仲間たちへの啓発:

ユニ・チャームグループで共に働く仲間たちと生物多様性や自然環境の保全を推し進めるために、本宣言はもちろん、より良い行動につながるような教育や啓発活動を実施します。

ステークホルダーとの連携:

政府機関、国際機関、NGO・NPO、地域社会、お取引先様など、様々なステークホルダーと連携し、生物多様性や自然環境の保全に向けた協働を推進します。

◆ユニ・チャーム プリンシプル

重要取り組みテーマ	指 標	実績				中長期目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標値	目標年
全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。							
持続可能性を 念頭においた経営	外部評価機関による評価レベルの 維持・向上の推進。	—	—	—	—	最高 レベル	2026年度 から 毎年
	バリューチェーンにおける重大な人権違反の発生件数。	発生ゼロ	1 件 (是正済)	1件 (是正済)	0件	発生ゼロ	毎年
適切な コーポレート・ガバナンス の実践	重大なコンプライアンス違反件数。	発生ゼロ	発生ゼロ	発生ゼロ	発生ゼロ	発生ゼロ	毎年
ダイバーシティ マネジメントの推進	女性社員にさまざまな機会を提供することによる管理 職における女性社員比率。	22.5%	23.2%	24.7%	25.5%	30%以上	2030年
優れた人材の 育成・能力開発	社員意識調査の「仕事を通じた成長実感」における肯 定的な回答の比率。	81.4% (日本)	89.2%	88.7%	90.1%	80%以上	2030年
職場の健康と 労働安全システムの構築	心身ともに社員が健康で安心して 働くことができる職場環境整備による 心身の不良を原因とした休職者の削減比率。	7名 (日本)	7名 (日本)	9名 (日本)	13名 (日本)	半減 (2020年度比)	2030年

(ユニ・チャームプリンシプル)
社会価値・経済価値の最大化に向け、役員評価に続き、
全社員を対象にESG評価制度を導入

◆ 持続可能性を念頭においた経営



➤ 役員評価（取締役※、執行役員）へ
ESGに関する評価を2020年導入

- ✓ 全社業績：全社売上高／全社コア営業利益／親会社の所有者に帰属する当期利益（構成比20%～50%）
- ✓ 担当部門業績：担当部門売上高／担当部門利益（構成比0%～40%）
- ✓ 全社重点戦略：役員自身で実行する優先戦略／ESG評価（専門機関の評価等）（構成比20%～50%）
- ✓ 担当部門重点戦略：担当部門の最優先戦略（構成比0%～40%）

※ 監査等委員である取締役を除く



外部評価機関による評価レベルの
維持・向上の推進

➤ 2023年からESG評価制度を全社員に導入し、
世の中への貢献内容の可視化と個々の成長を
通じた新たな価値創造を実現

ESG目標

人事制度

共生社会を実現

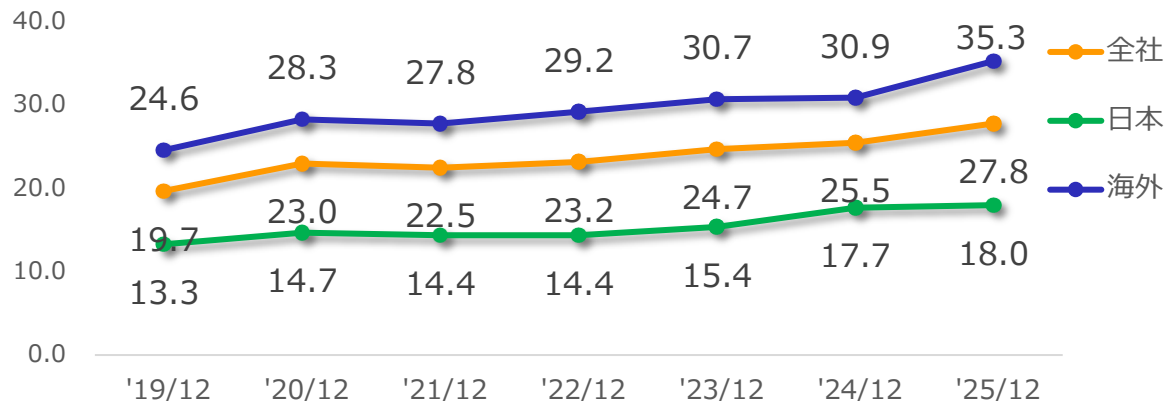
「個」の成長を促し
世界No.1企業を実現



(ユニ・チャームプリンシプル) 女性の活躍推進に向けた取り組みを更に強化

◆ダイバーシティマネジメントの推進

■女性管理職比率



2030年目標
30%以上



女性社員に様々な機会を提供することによる
管理職における女性社員の比率

➤ 主体的に自身のキャリアが描ける制度や仕組みで 社員一人ひとりの多様な人生設計を支援（日本）

エンパワーメント制度	女性部門長・役員候補者への個別支援として、役員と1対1の面談を実施し役員候補者を育成
社長・リーダーランチ会	経営トップとの対話を通じて、女性リーダーを育成
Room L+	メンタリングや座談会を通じて、キャリアやライフの悩みを払拭・解消
産休育休 Room L+	産休や育休からの復帰を準備する社員を対象とし、復職後の安心感を醸成
卵子凍結あんしんバンク	社員一人ひとりの多様な人生設計を支援するべく、卵子凍結保管サービスを福利厚生制度に導入

➤ 国や地域が抱える課題を克服し、女性の経済的 自立を支援（海外）

インド農村部での
女性起業家の創出

サウジアラビアの女性達へ
新たな活躍の場を提供



◆優れた人材の育成・能力開発

2025年度 社員満足度（全社）

5点満点中

4.44

2024年度 4.40（全社）



2030年目標
80%以上



社員意識調査の「仕事を通じた成長実感」に
おける肯定的な回答の比率

- 10年後、3年後の「ありたい姿」を見据え
自立的キャリア形成を促す独自フォーマット
「私のキャリアビジョン&キャリアプラン」を活用



- 社員の成長、働きがいを重視した人事制度や、
人的資本の強化を図る役割手当を導入（日本）

年収の引き上げ	資格ごとの報酬レンジを引き上げ
初任給の改定	入社前より自助努力を促進
評価制度の改定	年齢や社歴にかかわらず高い目標に挑戦し、 成果を上げた社員を評価
役割手当	スクラムリーダー手当、ブラザー＆シスター 手当、キャリアナビゲーター手当、新入社員 初任給変動制手当、スキル手当

➤ 経営陣と社員の双方向コミュニケーションによる「共振の経営」で共生社会の実現を目指す

【現場の知恵を経営に活かす】

■ Global OODA Caravan

社長執行役員と社員の対話で
目標達成への意欲向上につなげる

■ The Unicharm Awards

成果を上げたチームを称え、
学習の場とし、社員同士の共振につなげる

■ Global会議

各国・地域での活動事例から、
ナレッジの共有や組織力の強化を図る

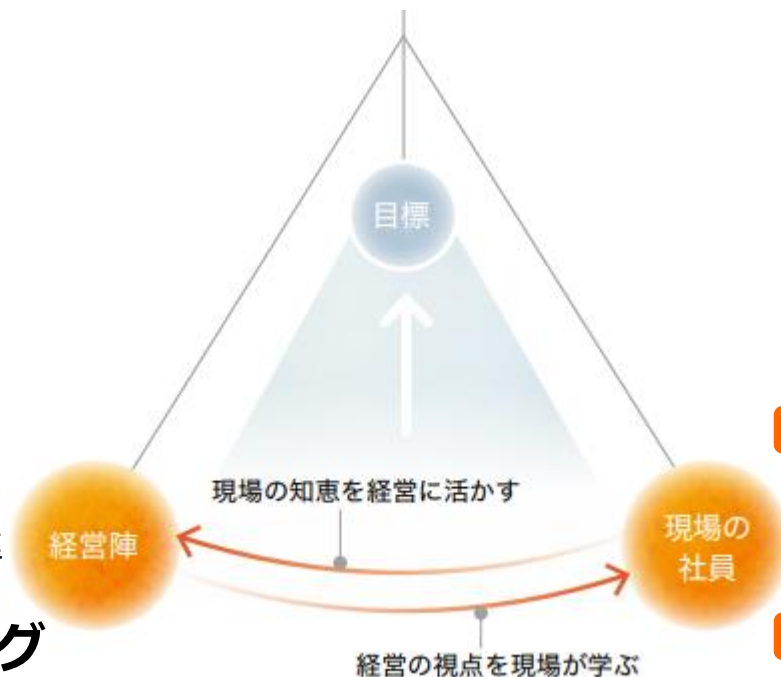
【経営の視点を現場が学ぶ】

■ 共振の経営実践会議

経営陣から
リーダークラスの社員への意思伝達

■ 週次スクラムミーティング

OODA-Loopに基づいて議論し、
業績目標の達成とメンバー育成の双方を加速



■ グローバル30

上級幹部社員の育成を目的とした
総合的な経営能力を養う、3年間のプログラム

■ 戦略担当秘書制度

2か月間、社長執行役員の秘書を経験し、
経営者の思考や行動を学ぶ

- 消費者のニーズを掘り起こし、イノベーションをリード「共振人材」をグローバルで創出

本部長以上
ナショナルスタッフ
比率
56.1%
(2025年12月時点)



◆持続可能性を念頭においた経営

- ①各執行役員が、将来の取締役・執行役員候補者に対して、定期的に各候補者のキャリアビジョン・キャリアプランを踏まえた面談を実施し、人材マップを作成・更新。
- ②代表取締役社長執行役員が、各執行役員に対して、四半期ごとに個別面談を実施し、客観的な判定が可能な担当部門および執行役員個人の達成目標を決定するとともに実績を評価し、指導・育成。
社外取締役も各執行役員に対して年1回以上、各執行役員と個別面談機会を設定し、各執行役員の執行状況、業務の課題を確認し大所高所からご助言をいただくことによって、課題解決に繋げ、経営者としてより高い視座を得るよう指導・育成。
- ③以上の仕組みの運用状況を定期的に指名委員会および報酬委員会に報告し、審議・討議。
- ④取締役会は、指名委員会における審議の結果を踏まえて、取締役候補者および執行役員を指名。
- ⑤中長期的な取締役および執行役員候補の発掘および育成を目的のひとつとして、30歳代の中堅社員を対象とし、2ヶ月間所属部門から経営企画室へ異動し、代表取締役社長執行役員の秘書として活動し、OJTを通じて経営者の思考特性、行動特性を学ぶ「戦略担当秘書制度」を実施。
また、2024年からは、全般的経営能力を発揮し経営の中心を担う上級幹部社員を2030年までに50名以上育成する次世代グローバルリーダー育成プログラムとして、「グローバル30プログラム」（各国・地域から代表者1名が集い、集合研修や代表取締役社長執行役員との直接のコミュニケーションを通じて一般教養を身に付けUnicharm Spiritsを伝承する3年サイクルのプログラム。終了時には各法人の中期経営計画立案に繋げる。）を実施。

◆2035年をゴールとした16の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

目指す方向

全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。

重要取り組みテーマ

- 健康寿命延伸/QOL向上
- ペットとの共生
- 女性が人生を自由にデザインできる社会の実現
- 育児生活の向上

目指す方向

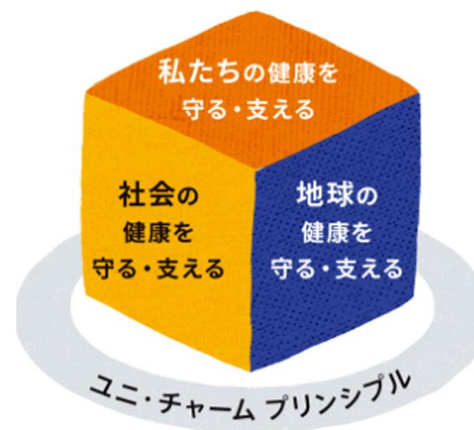
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- 「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上
- 持続可能なライフスタイルの実践
- バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施
- 安心な商品の供給

社会の健康を守る・支える

「共生社会」の実現



目指す方向

衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- Reffの社会実装拡大
- 気候変動対応
- 持続可能性・生物多様性に配慮したバリューチェーン構築
- プラスチック使用量の削減

地球の健康を守る・支える

目指す方向

全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。

重要取り組みテーマ

- 持続可能性を念頭においた経営
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- 職場の健康と労働安全の推進

ユニ・チャーム プリンシプル

◆「共生社会」の実現に向けた16の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

- 健康寿命延伸/QOL向上
- ペットとの共生
- 女性が人生を自由にデザインできる社会の実現
- 育児生活の向上

社会の健康を守る・支える

- 「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上
- 持続可能なライフスタイルの実践
- バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施
- 安心な商品の供給

地球の健康を守る・支える

- RefFの社会実装拡大
- 気候変動対応
- 持続可能性・生物多様性に配慮したバリューチェーン構築
- プラスチック使用量の削減

ユニ・チャームプリンシプル

- 持続可能性を念頭においた経営
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 職場の健康と労働安全の推進

◆私たちの健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標 (2024年を 基準として)	目標年
全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。			
健康寿命延伸/QOL向上	どのようなときも、誰もが“自分らしさ”を実感して暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループの排泄ケア用品使用者数	198	2035
ペットとの共生	ペットが、家族はもちろん、地域に暮らす人々から歓迎される社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループの犬専用紙おむつ使用頭数	190	
	・ユニ・チャームグループの犬用・猫用副食利用頭数	415	
女性が人生を自由にデザインできる社会の実現	女性が、人生を自由にデザインできる社会の実現に貢献する商品・サービス提供 ・ユニ・チャームグループの女性関連用品使用者数	170	
育児生活の向上	赤ちゃん和家人が、すこやかに、かつ、ほがらかに暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループのベビーケア用品使用者数	103	

中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2035」

重要取り組みテーマ・指標・目標一覧

◆社会の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。			
「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上	・ユニ・チャームグループの商品・サービス使用による「信頼」イメージ	27%	2035
	・ユニ・チャームグループの商品・サービス使用による「安心」イメージ	23%	
持続可能なライフスタイルの実践	・持続可能性に貢献する社内基準「SDGs Theme Guideline」に適合した商品・サービスの展開比率	50%	2035
バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施	・バリューチェーンにおける重大な人権違反の発生件数	発生ゼロ	毎年
安心な商品の供給	・お客様相談センターのお客様対応満足度	85%以上	毎年

中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2035」

重要取り組みテーマ・指標・目標一覧



◆地球の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。			
RefFの社会実装拡大	・ RefF商品展開数（自社＋他社コラボ）	30件以上	2035
	・ 紙パンツリサイクル取り組み自治体数	20自治体	
気候変動対応 ※目標はいずれも売上原単位で 2021年比較の削減目標	・ 原材料調達時CO2排出量削減	37.5%削減※	
	・ 製造時CO2排出量削減	63.1%削減※	
	・ 使用済み商品廃棄処理時CO2排出量削減	37.5%削減※	
持続可能性・生物多様性に配慮した バリューチェーン構築	・ パルプ、パーム油の原産地（国・地域）トレーサビリティ確認	100%	
	・ 認証パルプ（ PEFC・ CoC認証）の拡大	100%	
	・ 認証パーム油（ RSPO）の拡大	100%	
プラスチック使用量の削減	・ 包装材における使用量削減	2022年から 30.0%削減	
	・ 使用済み商品廃棄方法啓発	グループ全社 で展開	
	・ 販促物にリサイクル以外のプラスチックは使用しない	達成	

中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2035」 重要取り組みテーマ・指標・目標一覧

◆ユニ・チャーム プリンシプル

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。			
持続可能性を念頭においた経営	・ 外部評価機関による評価レベルの維持・向上の推進	主要ESG評価 最高レベル 獲得	毎年
適切なコーポレート・ガバナンスの実践	・ 重大なコンプライアンス違反件数	発生ゼロ	毎年
ダイバーシティマネジメントの推進	・ 女性社員に様々な機会を提供することによる管理職における女性社員比率	30%以上	2035
	・ 社員意識調査の「仕事を通じた成長実感」における肯定的な回答の比率	90%以上	
職場の健康と労働安全の推進	・ 死亡災害、労働能力損失災害の発生件数	発生ゼロ	毎年

新たな価値創造に向けたデジタル人材（DX人材）の育成

デジタル技術活用により、生活者の絶対価値を創造することで 持続的な企業価値の向上と、競争力強化を実現



デジタル技術を活用し
顧客の深層心理を理解した
唯一無二の商品・サービスを提供

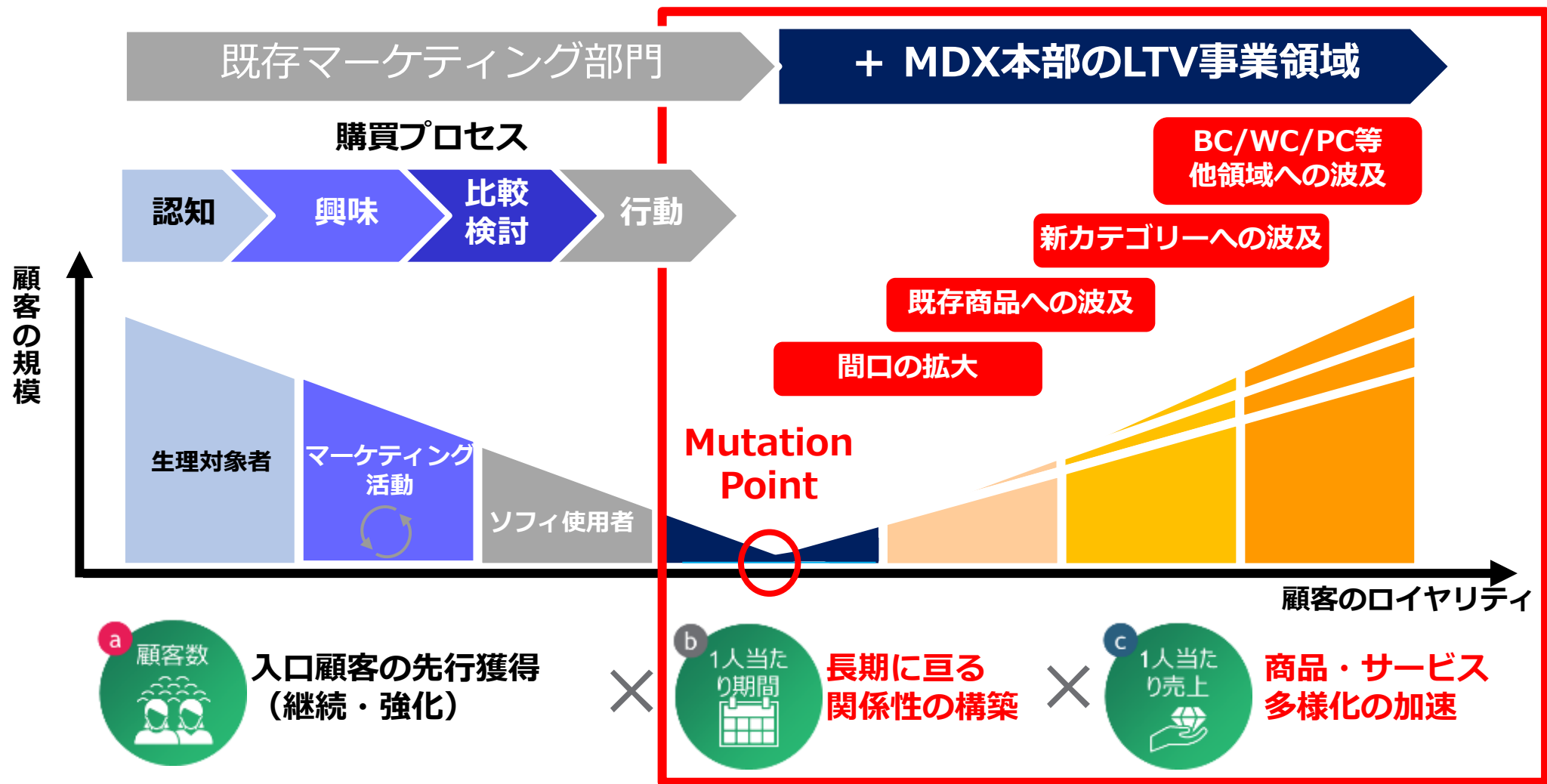
顧客データの収集
データ活用の為のデジタルインフラ整備

デジタル活用を加速する為に
デジタル人材を育成

女性を基点にLife Time Value (LTV) 最大化モデル構築 長期に亘る顧客との関係性構築と商品・サービスの多様化加速



➤ MDX本部（Marketing by DX）のLTV事業領域



- 生理体調管理アプリ「ソフィBe」を自社開発。AIによるパーソナライズ体験により、ウェルビーイングを支援。



ソフィBe



ソフィBeの提供価値

単なる生理予測ツールではない、女性の一生に寄り添い、支援するパートナー



生理



妊活



妊娠



出産



産後



育児



更年期



ソフィBe



女性のさまざまなライフステージに対応する拡張

累積ダウンロード約140万件突破 (2025年12月末時点)

➤ デジタルツールUniChat（ユニ・チャーム版生成AI Chat）を導入し、業務の効率化と短縮化を実現



Google Cloud Japanが主催する 『生成AI Innovation Awards』のファイナリストに選出 ～特許・実用新案公報×生成AI 業務効率化と価値向上への取り組み～	
社内FAQ機能を利用した場合	最大 97% 改善 ※1
特許サマリ生成機能を利用した場合	最大 83% 改善 ※1

※1 利用前と利用後の作業時間の改善事例

➤ 「生成AI勉強会」の実施と、部門ごとにDX担当を選任し、業務における効果的な生成AIの活用を加速

➤ グローバルでのオンライン自主学習システム
「LinkedIn Learning」で高ログイン、リピート率、自発的な学習を実現



600人超が受講※2

※2 2024年12月末時点



	利用者数	ログイン率
海外	約2,000名	100%
日本	約1,000名	100%

デジタル技術を活用した取り組み事例

デジタル技術を活用したグローバルでの「BOP Ship」を体現できる 「共振人材」育成の取り組み

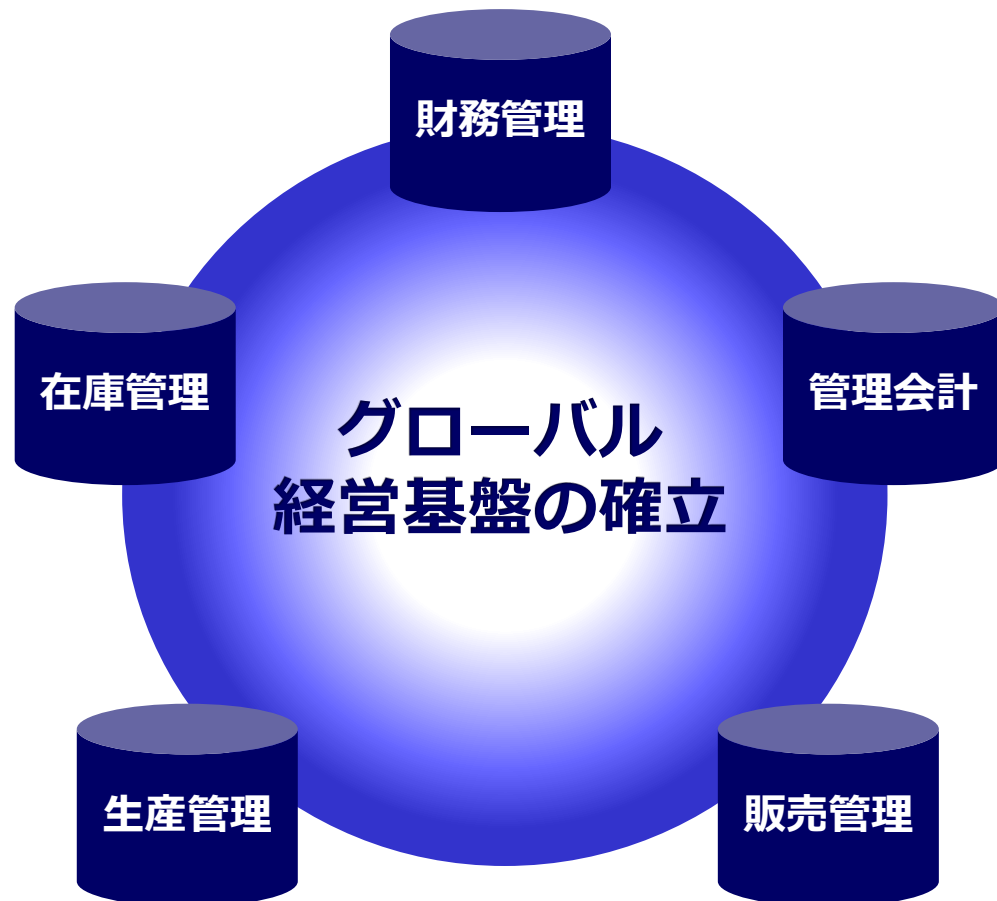
➤ 創業当初から受け継がれ、進化するユニ・チャームの企業文化「BOP-Ship」



➤ 「KYOSHIN」システムを活用し「The Unicharm Way」の浸透を図り、 「共振の経営」を通じて人材育成力をグローバルで強化



➤ 基幹システムの刷新により業務品質レベルの向上や効率化、管理数値精度を高め、市場競争力を強化



顧客サービスレベルの向上

- ✓ 納期回答レベルの向上
- ✓ 営業員負荷削減
- ✓ D2Cの拡充
- ✓ 新たな売上の創出など

業務品質の向上

- ✓ 原価管理強化
- ✓ 企業、事業間基幹業務標準化
- ✓ マスターデータ一元化によるグローバル横串での実績把握など

業務の効率化による 付加価値業務へのシフト

- ✓ ペーパーレス、インプットレス化
- ✓ 自動化、効率化による工数削減
- ✓ 受注、生販在庫調整業務の削減など

プロフィットマネジメントの 実現

- ✓ 損益管理、販売予実管理の精度向上
- ✓ 幹線輸送の効率化など

ESG強化のための基盤強化

- ✓ 企業間連携による物流効率化
- ✓ 非財務データ、マスターの一元化
- ✓ ガバナンス強化
- ✓ 多言語対応など

すべての人が秘めている限りない可能性を信じ、慈愛にあふれた利他の心を
発揮することで互いに支え合う「共生社会」の実現に貢献



➤ コーポレート・ブランド・エッセンス「Love Your Possibilities」につながる唯一無二の商品・サービス提供



なんでもできそう。いつでも、いつまでも。

Love Your Possibilities

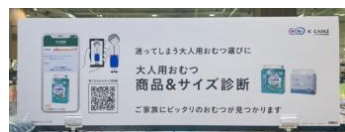
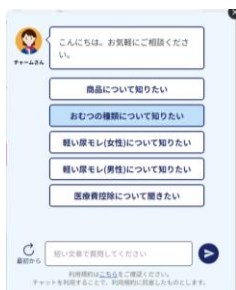


デジタル技術を活用した国内の取り組み①

- 商品や関連情報を提供する、AIチャットボット「チャームさん」や、最適な紙パンツ選びをサポートする「大人用おむつかウンセリング」

AIチャットボット：「チャームさん」

大人用おむつかウンセリング



ユーザー数：約13.6万名
(2025年12月末時点)



- ワンちゃん、ネコちゃんに関するお悩み共有サービス「DOQAT※1」



国産原材料にこだわった、
おいしくて栄養バランスのとれた
ウェットフードを発売して欲しい！

超小型犬や子犬の体形に
適切なサイズが欲しい！

※1 DOQAT <https://doqat.jp/>

登録数：計6万名
(2025年12月末時点)



- 出産や育児の不安をサポートする、チームムーニー「ポイントプログラム」「オンラインムーニーちゃん学級」「トイレトレーニングアプリ」



チームムーニー
累計登録会員数：約222万会員
(2025年12月末時点)

- AIを活用してネコちゃんが喜ぶフードをご提案する「ごはんマッチング※2」サービス



※2 ごはんマッチング
https://jp.unicharmpet.com/ja/food_matching/index.html

デジタル技術を活用した国内の取り組み②

- (株)ファーストアセント※¹との資本業務提携で、
健やかな育成環境の実現を加速



※¹ 子育て環境をより豊かにするため、AIやIoTを駆使した先進的な技術によって新しいサービスを創造し続ける会社

- (株)RABO※³との資本業務提携で、
ネコちゃん健康支援サービスを展開



※³ 株式会社RABO <https://rabo.cat/company/>

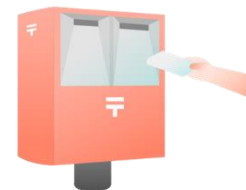
- (株)CHaiLD※²との共同研究で、
赤ちゃんの良質な睡眠環境、適切なケアを促進



※² 株式会社CHaiLD <https://c-c-s.jp/>

- (株)iLAC※⁴と共同し、次世代ヘルスケアサービス
『ソフィ FemScan (フェムスキャン)』の
試験運用を開始

専用キットで経血を採取し、
分析機関へ郵送



子宮頸がんの主な要因となる
HPV (ヒトパピローマウイルス) の
有無を、DNAレベルでチェック



後日、アプリで
検査結果を通知



※⁴ 株式会社iLAC <https://www.i-lac.co.jp/>

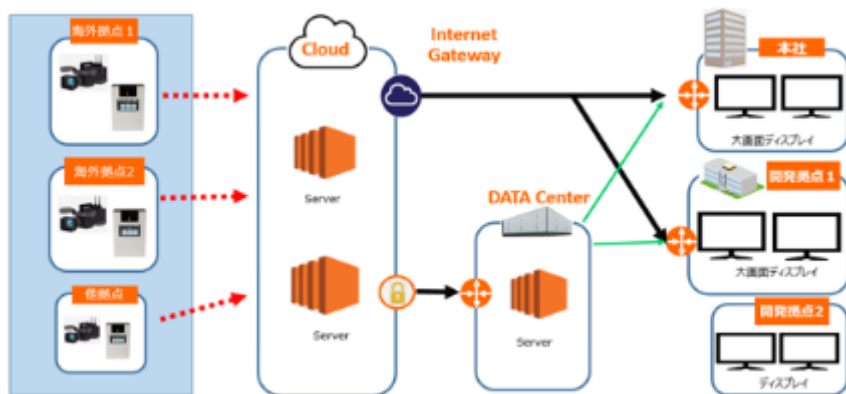
デジタル技術を活用した国内の取り組み③

- 店外における来店前のデジタル施策で、価値伝達を進化



- 顧客インサイトの発見に向け、「デジタルスクラムシステム」を開発

<デジタルスクラム 簡略イメージ図>



- お取り扱い商品「店舗検索システム」で、お客様満足度を向上



- 「ダイレクトショップ」の仕組み強化により、全カテゴリーで、お客様のさまざまなニーズに対応



- ▶ 様々な自働設備、IoTを活用した最新鋭のスマートファクトリー（九州）や自動化設備を導入した、豊浜ロジスティクスセンター



九州工場



豊浜ロジスティクスセンター

産業用ロボット



SCADA※1



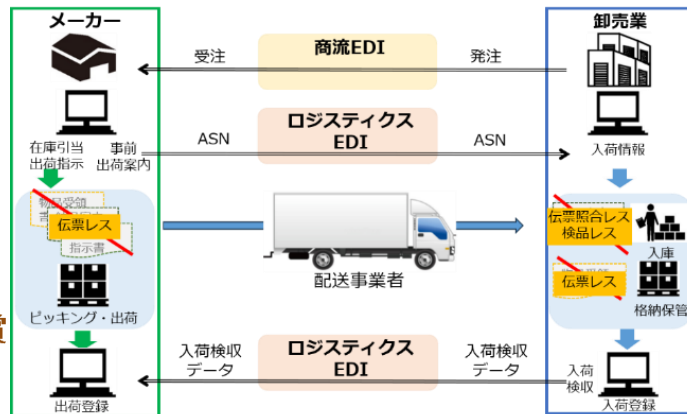
※1 Supervisory Control And Data Acquisitionの略

スマートロジスティクス

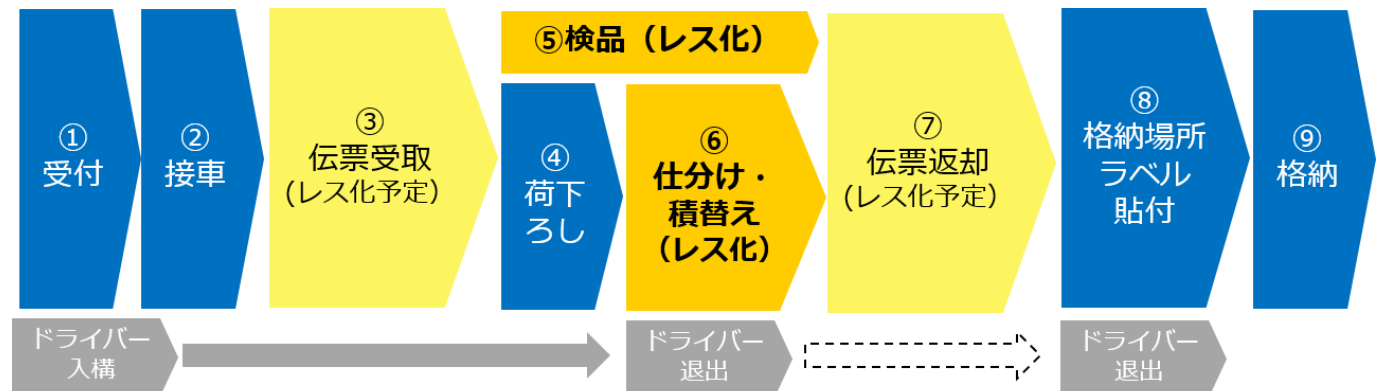


- ▶ 日用品メーカー13社で「日用品サプライチェーン協議会」を設立し、ロジスティクスEDI※2を活用したASN※3配信など、サプライチェーン全体の最適化と効率化を推進

EDI活用による業務モデル



ASNによる検品レス化（簡素化）の業務モデル



※2 Electronic Data Interchangeの略

※3 Advanced Shipping Noticeの略

デジタル技術を活用した海外の取り組み

➤ ペットの成長、健康記録ツール+病院紹介、商品購買プラットフォーム「宠本本（Pet note）」



成長・健康記録

パーソナルコンテンツ



健康相談

健康チェック

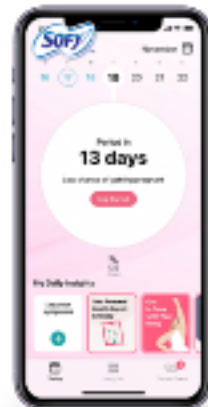
病院検索



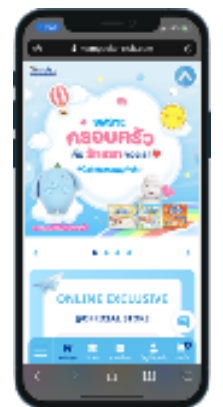
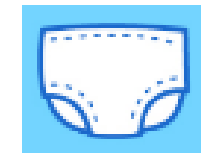
商品購入
(クイックコマース)



➤ 女性の生理知識、悩みをサポートするアプリ「Sofy Girl's Talk」



➤ ベビー用紙おむつのユニークな顧客体験を実現する「Mamypoko Club」



1月	✓ 「Japan Branding Awards 2024」で「BRONZE」を受賞
2月	✓ 「CDP2024」の3分野で最高評価「Aリスト」を獲得 ✓ 「人的資本経営品質2024 シルバー賞」に選定 ✓ 「第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」で「環境サステナブル企業」に選定
3月	✓ 「健康経営優良法人2025(ホワイト500)」に認定
5月	✓ 全国発明表彰「朝日新聞社賞」「発明実施功績賞」を初受賞 ～使用済み紙おむつから高純度パルプを再生する技術の発明（特許第6290475号）～
6月	✓ 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定 ✓ 中国の3工場でPEFC森林認証の「CoC認証」を取得
7月	✓ CDP 2024「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
8月	✓ 「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定
9月	✓ 「Sustainable Japan Award2025」 ESG部門 優秀賞を初受賞 ～使用済み紙パンツ(紙おむつ)の水平リサイクル「RefF(リーフ)」が高評価～
12月	✓ 「D&I AWARD 2025」で最上位の「ベストワークプレイス」に3年連続で認定 ✓ RefF Projectが「第13回環境省グッドライフアワード」にて「実行委員会特別賞SDGsビジネス賞」を受賞

インデックスへの組み入れおよび評価



※ 免責事項は以下サイトに掲載しております。
https://www.unicharm.co.jp/content/dam/sites/www_unicharm_co_jp/pdf/csr-eco/report/disclaimer_ms.pdf



人的資本リーダース 2023
人的資本経営品質 2024



2025 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダース指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダース指数

※ ユニ・チャーム株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本ページにおけるMSCIのロゴ、トレードマーク、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関係会社によるユニ・チャーム（株）の後援、推薦あるいはプロモーションではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCIおよびその指数の名称とロゴは、MSCIやその関係会社のトレードマークもしくはサービスマークです。



※2025年2月、
MSCI ESG Leaders Indexesの名称は、
MSCI Selection Indexesに変更されました。



FTSE JPX Blossom
Japan Index



FTSE4Good



FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに、ユニ・チャーム（株）が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、サステナブル投資のファンドやその他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。
<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにユニ・チャーム（株）が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。
<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

外部機関との連携



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

BUSINESS
AMBITION FOR 1.5°C

GHG排出量総量削減目標
基準年:2021年 目標年:2031年
スコープ1,2:46.20%削減
スコープ3:27.50%削減



STANDARD
100



JAPAN
CLIMATE
INITIATIVE



Member



JCLP



CLIMATE GROUP
RE100



Green x Digital
Consortium



In support of

WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office



ひめボス

認証事業所



こども
まんなか



外部機関との連携

ユニ・チャーム発祥の地となる愛媛県での地域社会貢献活動や被災地支援



- 企業版ふるさと納税を通じた地域の未来を担う子供たちへの支援活動



次世代球児育成事業



四国中央市電子図書館の
児童書購入

- 男子プロテニス協会公認「ユニ・チャームトロフィー 2025愛媛国際オープン」に協賛



- 「共生社会実現パートナー」として、FC今治の選手・スタッフ・サポーターの皆様とともにスポーツビジネスを通じて、地方創生に貢献



- 社員参加型の被災地支援「マッチングファンド※」を継続



参加社員：のべ33,168名
(2025年9月末時点)

※ 就業中に着用できるオリジナルのポロシャツ、ジャンパーなどを社内で販売し、その購入代金相当額と同額を「マッチングファンド」として被災地へ支援する社員参加型の取り組み

GPIF採用ESG指数における5指数の構成銘柄に選定

総合型指数

テーマ指数

※1



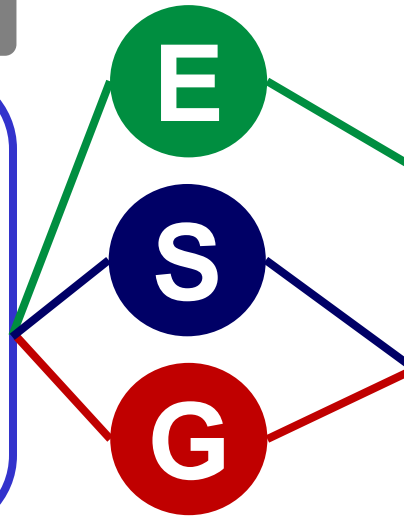
**FTSE JPX Blossom
Japan Index**

※2



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

2025 CONSTITUENT MSCI日本株 ※3
ESGセレクト・リーダーズ指数



免責事項は以下サイトに掲載しております
https://www.unicharm.co.jp/content/dam/sites/www_unicharm_co_jp/pdf/csr-eco/report/disclaimer_ms.pdf

その他ESG指数



FTSE4Good

2024 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2025年2月、MSCI ESG Leaders Indexesの名称は、MSCI Selection Indexesに変更されました。

※1 FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに、ユニ・チャーム(株)が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、サステナブル投資のファンドやその他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

※2 FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにユニ・チャーム(株)が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

※3 ユニ・チャーム株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本ページにおけるMSCIのロゴ、トレードマーク、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関係会社によるユニ・チャーム株式会社の後援、推薦あるいはプロモーションではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCIおよびその指数の名称とロゴは、MSCIやその関係会社のトレードマークもしくはサービスマークです。

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
CDP SCORES	気候変動	B	A-	A-	A-	A-	A	—
	森林 (木材)	B	B-	B	B	A	A	—
	水 セキュリティ	B-	B-	B	B	A	A	—
MSCI ESG RATINGS		BBB 5.3	A 5.3	BBB 4.7	A 5.1	AA 5.7	AA 5.4	A 4.9
FTSE ESG RATINGS		3.5	3.7	3.9	4.0	4.2	4.4	4.6

「Kyo-sei Life Vision 2030」重要テーマに関わる取り組み事例

取り組み事例	実績
「排泄ケア」講座	累計374開催（2025年12月末時点）
「大人おむつカウンセリング」ユーザー数	約136,000名（2025年12月末時点）
「みんなの生理研修」研修申し込み件数 https://www.sofy.jp/ja/campaign/minnanoseirikensyu.html	約650の企業・団体（2025年12月末時点）
ソフィBe : https://www.sofy.jp/ja/app/sofybe.html	累計約140万ダウンロード（2025年12月末時点）
TikTok「さらけだ荘」再生数 https://www.tiktok.com/@sofy_official_7days/	約7,700万回（2025年12月末時点）
初潮教育・月経教育（オンライン含む）	インド：約779,000名（2025年12月末時点）
初潮教育・月経教育（母娘で学ぶセッション）	インド：計426回 約15,000組（2025年12月末時点）
初潮教育サイト「power CHARM girls」登録数	インドネシア：約87,200名（2025年12月末時点）
「チーム ムーニーポイントプログラム」登録会員数 https://jp.moony.com/ja/apps/mooneypoint.html	累計登録会員数：約222万会員（2025年12月末時点）
ペットのQ&Aサービス「DOQAT」登録数 https://doqat.jp/	約60,000名（2025年12月末時点）
社員参加型の被災地支援「マッチングファンド」	参加社員：のべ33,168名（2025年9月末時点）



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

